





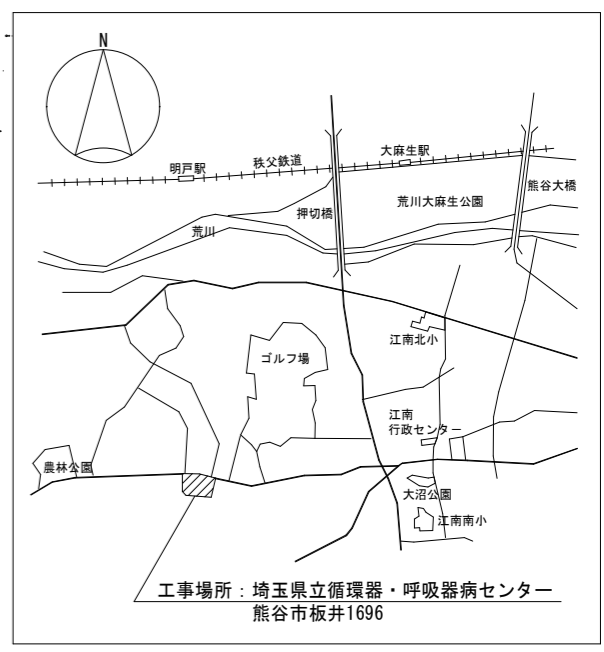
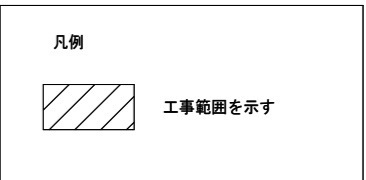
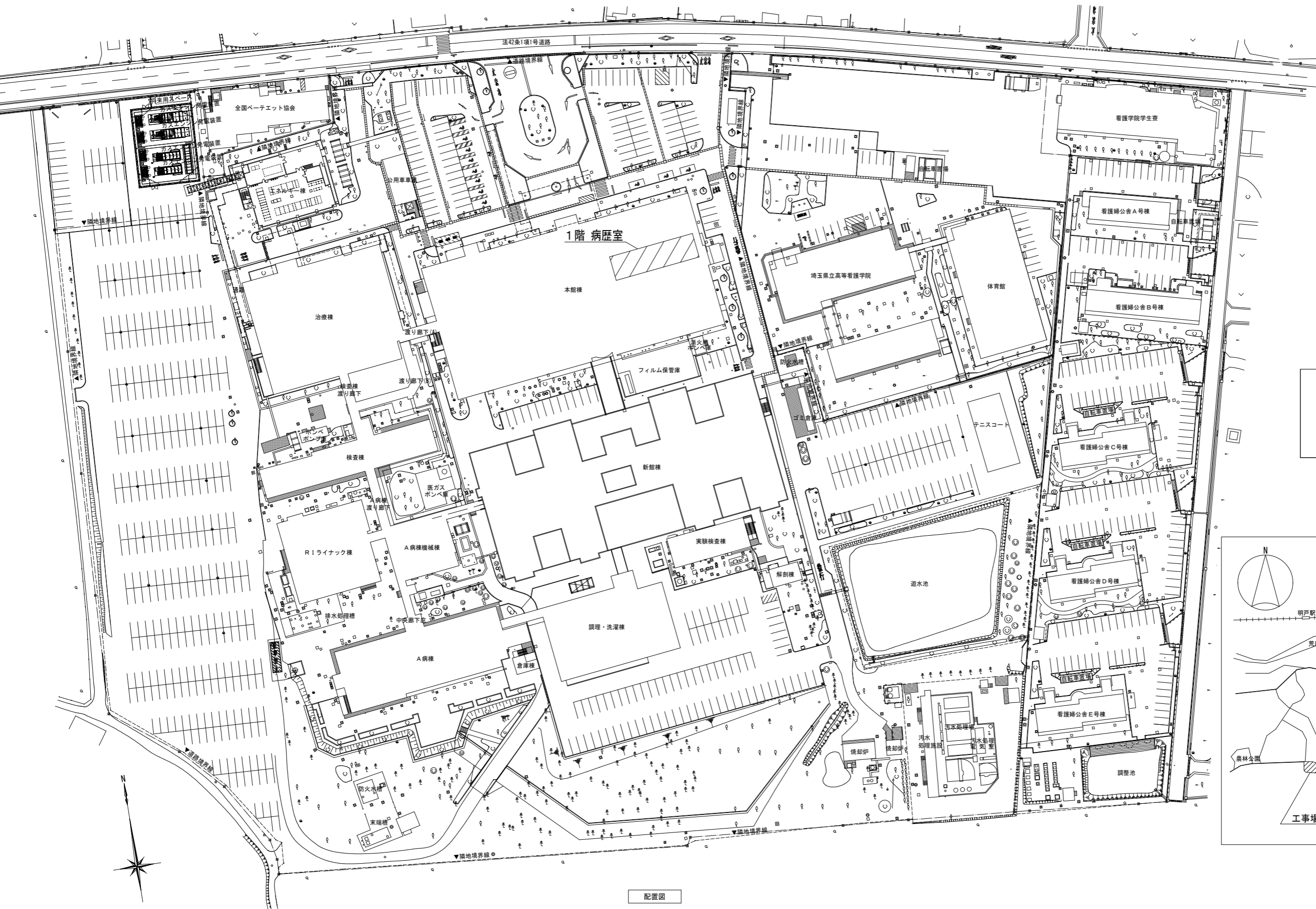
27 モルタル塗り
モルタル ・現場調合材料 ・既調合材料
既製目地材 ・設ける 施工箇所 ( ) 形状 (※図示 )
床目地 ・設けない 目地割り ※2m程度(最大目地間隔3m程度)
壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の地下処理 ※図示による
28 タイル張り
伸縮調整目地の位置
床タイル (※縦、横とも4m以内ごと ・図示 )
床タイル以外 ( ・図示 )
伸縮調整目地のシーリング材、目地寸法は改修特記仕様書第3章による
29 セルフレベリング材塗り
フリーアクセスフロア
フリーアクセスフロアの試験方法
寸法精度
パネルの長さの寸法精度
パネルの平面形状(角度)の寸法精度
フリーアクセスフロアの長さの寸法精度
帯電防止性能
評価値(U) ≥0.6以上
評価値(U) ≥1.2以上
感電防止性能
漏えい抵抗(R) ≥1×10^9 Ω
31 可動間仕切
パネル材料のホルムアルデヒド放出量 ※F☆☆☆☆
32 移動間仕切
パネル内に取付ける建具 ・あり(※図示)
パネル内に取付ける建具のドアローザ、丁番、錠前、上げ落しは、標準仕様書16章8節の建具用金物に対応する材質とする。
表面仕上げを壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による。
33 トイレブース
パネル材料のホルムアルデヒド放出量 ※F☆☆☆☆
34 手すり
材料の種類及び仕上げ
SUS304 表面処理 ※LH程度
鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき(※標準仕様書 表14.2.2による種別(種))
アルミニウム 表面処理 (※標準仕様書 表14.2.1による種別(種))
色等 ・標準色( ) ・特注色( )
手すりの握り部分
材質 表面仕上げ 直径(mm) 取付箇所 備考
集成材(材質: ) ・カワカン ・ 30程度・35程度・45程度
ビニ製ヘッド ・ 30程度・35程度・45程度
樹脂被覆材 ・ 34φ

35 階段滑り止め
材質 ・ステンレス製 ・黄銅製押出型材 (20.2.7)
アルミニウム製押出型材
形状 ※タイヤ型 (タイヤの材質: ゴム又は合成樹脂等) ・タイヤレス製
端部の形状 フラットエンド ・あり なし
寸法(幅) ・35mm程度 ・40mm程度 ・50mm程度
取付け工法 ※接着工法 ・埋め込み工法
36 黒板及びホワイトボード
黒板 区分 ※焼き付け
種類 ・ほうろう ・鋼製
色 ※緑
ホワイトボード ( )
37 表示
衝突防止表示
設置場所 ※図示による
形状・寸法 ( ・30φ )
材質 ( ・ステンレス製 ・塩ビシート )
設置しない
誘導標識、非常用進入口等の表示 ※消防法に適合する市販品
室名札、ヒコトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等(案内用記号はJIS Z 8210による) ※図示による
38 タラップ
材質及び仕上げ
SUS304 (スリッパ止め加工 ※あり ・なし)
鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき
(※標準仕様書表 14.2.2による種別 (※C種 ・種))
39 ブラインド
形式 操作法 操作方法的の種類 スラットの材質 スラット幅(mm) ガラス・レールの材質 幅・高さ取付箇所
横形 ・手動 ※ギヤ式 ※アルミニウム合金製 G ※25 ※鋼製 ・図示
電動 ※コード式 ・操作棒式
縦形 ・手動 ※2本操作コード式 ・1本操作コード式 ・アルミスラット ・クロススラット ・80 ※76×16mm合金製 ・図示
電動
縦型ブラインドのスラットの材質
アルミスラット 焼付け塗装仕上げ
クロススラット 消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は G とする
40 ロールスクリーン
操作法 ・スプリング式 ・コード式 ・電動式 (20.2.15)
幅、高さ、取付箇所 ・図示
材質 ・ガラス繊維製 ・合成・天然繊維製
品質等
その他の材料 ※ロールスクリーンの製造所の仕様による
スクリーンの仕様
消防法で定める防炎性能の表示があるもの
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は G とする
暗幕カーテンの両端、上部及び召合せの重なり ※300mm以上
41 カーテン
形式 開閉操作 ひだの種類 生地の種類、品質、特殊加工等 取付け箇所 備考
シングル ・片引き ・手引き ・つまみひだ
ダブル ・引分け ・ひも引き ・箱ひだ、片ひだ
電動 ・アレーンひだ
(暗幕)
生地の仕様
消防法で定める防炎性能の表示があるもの
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は G とする
暗幕カーテンの両端、上部及び召合せの重なり ※300mm以上
42 カーテンレール
材料による区分 ※アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材 (20.2.16)
ステンレス製
強さによる区分 ※10-90
仕上げ ※アルマイト
形状 ※角形
43 ブラインドボックス及びカーテンボックス
溝幅×深さ(mm) ・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 ・図示
材質 ・集材材(仕上げ: アルミニウム製 押出し型材(市販品)
種類(標準仕様書表14.2.1) ・BC-1種 ・BC-2種
色合い ・標準色( ) ・特注色( )
鋼製(仕上げ: )
44 天井点検口
45 床点検口
46 くつきマット
47 流し台ユニット
48 鋼製書架及び物品棚
品質・性能 外観は、JIS A 4420「キッチン設備の構成材」の4.1による。
構成材は、JIS A 4420の8 により試験を行ったとき、表1の規定による。
※図示
形状
種類 規格等 JISによる種類
鋼製書架 JIS S 1039の規格による ・1種 ・2種 ・3種
鋼製物品棚 ・4種 ・5種 ・6種

49 屋内掲示板
材の材質 ※アルミニウム張り
表面の材質 ※塩ビ発泡シート張り
50 洗面カウンター
材質 ・メラミン樹脂化粧板張り(芯材:集成材) ・人工大理石
奥行(mm) ・約450 ・約600
51 防煙垂れ壁
固定式
材質 厚さ(mm) 高さ(mm) 備考
※網入り磨板ガラス ※6.8 ※500 アルミ製付き
※網入り磨板ガラス
可動式
種類 材質 高さ(mm) 備考
垂直降下式(巻取り型) ※不燃性(不燃認定品) ※500 ガイドレール ※800 ガイドレール(壁埋込型)
固定式(天井収納型)
回転降下式 鋼板製又はアルミ製 ※500 表面仕上げ ※天井材張り ※800
降下機構 煙感知器連動及び自動開放装置(埋込型)
52 収納家具
材質、形状、寸法 ※図示
材料のホルムアルデヒド放出量 ※F☆☆☆☆
7 塗装改修工事
1 材料
屋内で使用される塗料のホルムアルデヒド放出量 ※F☆☆☆☆
防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
次の箇所を除き防火材料とする。(箇所: )
2 地下調整
塗替えR種の場合の既存塗膜の除去範囲 ※劣化部分は除去し、活膜部分は残す ・図示
地下調整
下地面の種類 地下調整の種類 塗替え ひび割れ部の修繕
木部 ※不透明塗料塗りの場合はR種
鉄鋼面 ※RA種(注) ※RB種
塗膜のつき面 ※RA種(注) ※RB種
塗膜のつき面(鋼製建具) ※RA種 ※RB種
モルタル、せつこうラス面 ※RA種 ※RB種
コンクリート面(DP以外) ※RA種 ※RB種
ALCパネル面 ※RA種 ※RB種
押出成形セメント板面 ※RA種(注) ※RB種
コンクリート面(DP) ※RA種(注) ※RB種
コンクリート面(DP) ※RA種(注) ※RB種
せつこうボード面及びその他ボード面 ※RA種 ※RB種
(注)DP以外からDPへ塗替えの場合の地下調整は、既存塗膜の種類及び劣化状況に応じてRA種(既存塗膜全除去)又はRB種(既存塗膜一部除去)を選定すること。
3 素地ごしらえ
下地面等 種別
木部 不透明塗料塗りの場合 ※A種 ・B種
透明塗料塗りの場合 ※A種 ・B種
鉄鋼面(DP以外) ※A種 ・B種
鉄鋼面(DP) ※A種 ・B種
塗膜のつき面 ※A種 ・B種
モルタル面及びせつこうラス面 ※A種 ※B種
コンクリート面(DP以外)及びALCパネル面 ※A種 ※B種
押出成形セメント板面及びコンクリート面(DP) ※A種 ・B種
コンクリート面(DPのみ) ※A種 ※B種
せつこうボード面及びその他ボード面 目地・継目処理工法 ※A種 ・B種
目地・継目処理工法以外 ※A種 ※B種
4 錆止め塗料塗り
錆止め塗料塗りの種別
表地面 塗装の種類 塗料の種別 工程の種別
鉄鋼面 SOP 塗替え ※A種 ※C種
(工程の種別は) 新規見え掛り A種 ※A種
[表7.4.3] 新規見え隠れ A種 ※B種
EP-G 塗替え ・A種 ※B種 ※C種
(工程の種別は) 新規見え掛り ・A種 ※B種 ※A種
[表7.4.3] 新規見え隠れ ・A種 ※B種 ※A種
DP 塗替え 7.4.2(1)(f)(b) ・A種(地下調整R種)
(工程の種別は) による ※C種(地下調整B種)
[表7.4.4] 新規 7.4.2(1)(f)(a) A種
5 塗装
塗装の種類 塗装面 塗料の種別 工程
合成樹脂調合ペイント塗り(SOP) 木部屋外 ※B種 ・ ※A種
木部屋内 ※B種 ・ ※B種
塗料の種別 鉄鋼面 ※B種 ・ ※B種
塗膜のつき面(鋼製建具以外) ※A種 ・ ※B種
塗膜のつき面(鋼製建具) ※A種 ・ ※B種
クリヤラッカー塗り(CL) 鉄鋼面 上塗り等級( ) 級 ※B種 ・ A種
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD) ※B種 ・ A種 ※B種
・耐候性塗料塗り(DP) 鉄鋼面 上塗り等級( ) 級 ※B種 ・ A種
塗膜のつき面 上塗り等級( ) 級 - -
コンクリート面及び押出成形セメント板面 ※B種 ・ ※B種
つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G) 屋内の木部 ※B種 ・ ※A種
屋内の鉄鋼面 ※B種 ・ ※B種
屋内の塗膜のつき面 ※B種 ・ ※A種
合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP) ※B種 ・ ※B種
ウレタン樹脂ワニス塗り(UU) 1段式 ※B種 ・ A種 ※B種
ステイン塗り ・ビグメントステイン塗り ・オイルステイン塗り(OS)
木材保護塗料塗り(WP) ※B種 ・ A種 ※B種
つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(コンクリート面、珪砂面、せつこうラス面、せつこうボード面、その他)の塗替えの場合のしき止め
※B種又はC種の場合は[表7.9.1]の工程1の下塗りをしき止めシーラーとする
合成樹脂エマルジョンペイント塗りの塗替えの場合のしき止め
※B種又はC種の場合は[表7.10.1]の工程1の下塗りをしき止めシーラーとする
(注)DP以外からDPへの塗替えは、地下調整の種別に注意すること。

8 耐震改修工事
特記仕様書(改修その7~8)による
9 環境配慮改修工事
1 石綿粉じん濃度測定
測定時期、場所及び測定点
測定時期 測定場所 測定点
測定1 測定2 測定3 測定4 測定5 測定6 測定7 測定8
測定5のみ ※「ナシ」の場合、粉じん相対湿度計(ゲージ粉じん計)、繊維状粒子自動計測器(77974774in-モーター)等、換気の粉じん濃度を迅速に計測できる機器にて測定
測定5以外は下表による
測定3 測定1,4,7,9 測定2,6,8,10
測定5 測定10
試料の吸引流量(L/min) ※1 ※5 ※240
試料の吸引時間(min) ※5 ※120 ※240
2 石綿含有吹付け材の除去(レベル1)
除去対象範囲 ・図示
除去工法 ※[9.1.3](2)(7)による
除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置
※密封処理 ※湿潤化 ※固形化
除去した石綿含有吹付け材等の処分
・埋立処分(管理型最終処分場)
・中間処理(溶融施設または無害化処理施設)
3 石綿含有保温材等の除去(レベル2)
除去工法 ※[9.1.4](2)による(原形のまま、手ばらしが可能な場合)
除去対象範囲 ・図示
[9.1.3]による(湿潤、劣化等で石綿粉塵を発生するおそれがある場合)
除去対象範囲 ・図示
除去した石綿含有保温材等の飛散防止措置
※密封処理 ※湿潤化 ※固形化
除去した石綿含有保温材等の処分
・埋立処分(管理型最終処分場)
・中間処理(溶融施設または無害化処理施設)
4 石綿含有成形板の除去(レベル3)
除去対象範囲 ・図示
石綿含有けい酸カルシウム板一種の場合の隔離養生(負担不要)方法
○ビニールシート等による養生を行う
除去した石綿含有成形板の処分
・石綿含有せつこうボード
※埋立処分(管理型最終処分場)
・石綿含有せつこうボードを除く石綿含有成形板
・埋立処分(安定型最終処分場)
・中間処理(溶融施設または無害化処理施設)
除去した石綿含有けい酸カルシウム板一種の処分
○埋立処分(安定型最終処分場)
・中間処理(溶融施設または無害化処理施設)
5 石綿含有建築用仕上塗材等の除去(レベル3)
除去対象範囲 ・図示
着工前の試験施工 ・行う ・行わない
除去工法 ( )
除去した石綿含有建築用仕上塗材等の飛散防止措置
※密封処理 ※湿潤化 ※固形化
除去した石綿含有建築用仕上塗材等の処分
・埋立処分(管理型最終処分場)
・中間処理(溶融施設または無害化処理施設)
6 PCB含有シーリング材処分
種類 採取する部位・箇所数 備考
PCB含有シーリング 部位 ・図示
分析調査(第一次判定) 箇所数 ・箇所
PCB含有シーリング 部位 ・図示
分析調査(第二次判定) 箇所数 ・箇所
詳細は監督員との協議による
7 外断熱改修工事
断熱材 ( )厚さ( mm) 施工箇所( ・図示 )
ホルムアルデヒド放射量 ※F☆☆☆☆
外装材
種類 防火性能 備考
鋼材 改修特記仕様書第8章 8-3 鉄骨工事 ・鋼材による。
空木 改修特記仕様書第3章 ・アルミニウム製空木による。
既存外壁の処置
既存外壁仕上げ材の撤去 ・行う ・行わない
下地の清掃 ・行う ・行わない
欠損部の改修工法 ・改修特記仕様書第4章 外壁改修工事による
工法
建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法
不陸等の地下調整
断熱材の施工 ・断熱材の製造所の仕様による
外装材の施工 ・外装材製造所の仕様による
通気層の有無 ・あり ( mm) ・なし
外装材の外壁への取付け ・図示
空木の施工 ・改修特記仕様書第3章 アルミニウム製空木による

<p>8 断熱・防露改修工事</p> <p>フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量 [9.3.2~4] ※F☆☆☆☆ 開口部等補修のための張付け用接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆</p> <p>工法 ・断熱材打込み工法 断熱材 JIS A 9521 に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 厚さ(mm) 施工箇所 ・断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ※A種I ・A種IH 厚さ(mm) ・25 ・30 施工箇所 ・断熱材後張り工法 断熱材 JIS A 9521 に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 厚さ(mm) ・せっこうボード等を張り付けたパネルを使用 材質 厚さ(mm) ・張り付け工法 断熱材の張り付け工法 断熱材へのボードの張付け工法</p> <p>9 屋上緑化改修工事</p> <p>植栽基盤及び材料 [9.4.2~4] 屋上緑化軽量システム 芝及び地被類の樹根並びに種類 見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法 かん水装置 既存保護層の撤去 新植した芝及び地被類の枯補償の期間 ※引き渡しの日から1年</p> <p>10 透水性アスファルト舗装改修工事</p> <p>適用範囲：歩道 [9.5.2~5、9] 既存舗装の撤去及び再利用 ※図示</p> <p>路床の材料</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>材料</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>・盛土</td> <td>・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 [G] ・再生クラッシュラン [G] ・クラッシュラン</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・凍上抑制層</td> <td>・切込み砂利 ・砂 (改修標準仕様書表9.5.1による)</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・フィルター層</td> <td>・改修標準仕様書9.5.3(2)(ウ)による</td> <td>・図示</td> </tr> </table> <p>(凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験) ・行う ・行わない</p> <p>・路床安定処理 安定処理の方法 路床安定処理用添加材料 種類 添加量 目撃CBR ジオテキスタイル 単位面積質量 厚さ(mm) 引張強さ 透水係数</p> <p>試験 路床土の支持力比(CBR)試験 現場CBR試験 路床締め度の試験 六価クロム溶出試験</p> <p>路盤 路盤の構成及び厚さ 路盤材料 (改修標準仕様書表9.7.3による種別) ・クラッシュラン ・粒度調整砕石 ・再生クラッシュラン [G] ・高生粒度調整砕石 [G] ・クラッシュラン鉄鋼スラグ [G] ・粒度調整鉄鋼スラグ [G] ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ [G]</p> <p>舗装の構成 舗装の平たん性 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験</p> <p>11 舗装版切断時に発生する濁水の処理 (舗装切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書)</p> <p>濁水の処理 1) 受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。 種類及び処理量 処理方法 2) 受注者は、別の中間処理施設を選定する場合、事前に監督員と協議するものとする。</p> <p>共通事項 1) 受注者は、舗装版切断作業を行いながら濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した濁水を産業廃棄物の汚泥(油分を含む汚泥)として中間処理施設に運搬及び処理するものとする。 2) 受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならないものとする。 3) 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。 4) 受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票(以下「マニフェスト」という。)により管理するものとする。</p> <p>提出書類等 1) 受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付する。2) 受注者は、工事完成後速やかにマニフェストの写しを監督員に提出しなければならないものとする。</p> <p>その他 1) 濁水処理量については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原則として設計変更の対象としないものとする。2) 受注者は、舗装版切断時に濁水を生じない工法を使用する場合には、事前に監督員と協議するものとする。3) 疑義等が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。</p>	種別	材料	厚さ(mm)	・盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 [G] ・再生クラッシュラン [G] ・クラッシュラン	・図示	・凍上抑制層	・切込み砂利 ・砂 (改修標準仕様書表9.5.1による)	・図示	・フィルター層	・改修標準仕様書9.5.3(2)(ウ)による	・図示	<p>10 鉄筋工事</p> <p>1 鉄筋 (5.2.1) 鉄筋の種類 種類 種類 呼び径(mm) 備考 ・SD295 ※D16以下 ・SD345 ※D19以上</p> <p>2 溶接金網 (5.2.2) 形状等 種類 種類 網目の形状、寸法、鉄線の径(mm) 使用部位 ・溶接金網 ・鉄筋格子</p> <p>3 鉄筋の継手 (5.3.4) 鉄筋の継手方法等 部位 継手方法 呼び径(mm) 柱、梁の主筋 ・ガス圧接 ・機械式継手 ※D19以上 ・溶接継手 ・重ね継手 耐力壁の鉄筋 ・重ね継手 基礎、耐圧スラブ、土圧壁 ・重ね継手 ・ガス圧接 その他の鉄筋( ) ・重ね継手</p> <p>4 鉄筋の定着 (5.3.4) 鉄筋の定着長さ ・図示による( )</p> <p>5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔 (溶接金網含む) (5.3.5) 鉄筋の余長の長さ 構造関係共通図(配筋標準図)による。これによらない箇所は図示による。 最小かぶり厚さ(自地底から算出を行う) ※図示による(構造関係共通図(配筋標準図)4(1)表4.1) ・図示による( )</p> <p>6 各部配筋 (5.3.7) ※図示による</p> <p>7 ガス圧接 (5.4.10) 圧接完了後の圧接部の試験 外観試験 抜き試験 ※超音波探傷試験(試験方法 標準仕様書5.4.10(f)(a)による) 引張試験 試験方法 ※標準仕様書5.4.10(f)(b)による</p> <p>8 機械式継手 (5.5.3.5) 適用箇所 ・図示による( ) H12建告第1463号に適合する性能 ・A級</p> <p>9 溶接継手 (5.5.3.5) 適用箇所 ・図示による( ) H12建告第1463号に適合する性能 ・A級 溶接継手の工法 ・図示による( ) 鉄筋相互のあき ・標準仕様書5.3.5(4)による ・評定等の評価内容による ・図示による( )</p>	<p>11 コンクリート工事</p> <p>1 コンクリートの種類等 (6.2.1) 種類 ※I類 (JIS A 5308 への適合を認証されたコンクリート) ・II類 (JIS A 5308 に適合したコンクリート)</p> <p>2 セメント (6.3.1) 種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 適用箇所 (※下記以外全て) 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱7日目で 352 J/g 以下、かつ28日目で 402 J/g 以下のものとする。 ・高炉セメントB種 [G] 適用箇所 (・1Fより下部(立上り部含む)) ・フライアッシュセメントB種 [G] 適用箇所( )</p> <p>3 骨材 (6.3.1) アルカリシリカ反応性による区分 ※A・B(コンクリート中のアルカリ総量が 3.0 kg/m<sup>3</sup> 以下)</p> <p>4 混和材料 (6.3.1) ・混和剤 混和剤の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(a)による ・混和材 混和材の種類 ※標準仕様書6.3.1(4)(b)による</p> <p>5 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地 (6.6.4) 打継ぎの位置 梁及びスラブ ※スラブの中央又は端から1/4の付近 ・図示による( ) 柱及び壁 ※スラブ、壁梁又は基礎の上端 ・図示による( )</p> <p>6 湿潤養生 (6.7.2) 湿潤養生の期間 ・セメントの種類が普通エコセメントの場合 ( ) 日</p> <p>7 コンクリートの仕上り (6.2.5)(6.8.2) 合板せき板を用いるコンクリートの打直し仕上り 種類 ・A種 ※図示による( ) ・B種 ※図示による( ) ・C種 ※図示による( )</p> <p>8 打増し厚さ (打直し仕上げ部) (6.8.1) 打増し厚さ ・打直し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る) ・20mm ・打直し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る) ・10mm ・20mm ・外装タイル後張り面の打増し処理 ・20mm</p> <p>9 型枠 (6.8.2) せき板の材料及び厚さ ・合板(※12mm ) [G] コンクリート打設時の充填性の確認のため、型枠の一部に透明型枠等を使用する場合は、強度、変形等について、事前に監督員と協議する。 ・断熱材を兼用した型枠の使用 適用箇所 ・図示による( ) ・MCR工法用シートの使用 適用箇所 ・図示による( ) 打増し厚さ ・20mm 打増し範囲 ・図示による( ) スリーブの材種・規格等 ・図示による( )</p> <p>10 軽量コンクリート (6.10.1、2) 適用箇所 ・図示による( ) 種類 ・1種 ・2種 気乾単位容積質量 ・標準仕様書表6.10.11による スラブ ※21cm</p>	<p>11 寒中コンクリート (6.11.1、2) 適用期間(月日~月日) 構造体強度補正值(S)を積算温度を基に定める場合 ・図示による( )、S=( )</p> <p>12 暑中コンクリート (6.12.2) 適用期間(月日~月日) 構造体強度補正值(S) ※6N/mm<sup>2</sup> ・図示による( )、S=( )</p> <p>13 マスコンクリート (6.13.1、2) 適用箇所 ・図示による( ) セメントの種類 ・普通ポルトランドセメント ・中麻熟ポルトランドセメント ・低熱ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・シリカセメント 混和材料の適用 ・あり(・標準仕様書6.13.2(2)(7)による ・標準仕様書6.13.2(2)(4)による)</p> <p>14 無筋コンクリート (6.14.1) コンクリートの種類 ・普通コンクリート セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 ・フライアッシュセメントA種 ・高炉セメントB種 [G] ・フライアッシュセメントB種 [G] 設計基準強度 ※18 (N/mm<sup>2</sup>) スラブ ※15cm又は18cm 適用箇所 ※標準仕様書6.14.1(4)による箇所 ・図示による( )</p> <p>15 コンクリートの単位水量測定 実施要領 (1) 単位水量の測定は、150m<sup>3</sup>に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。 (2) 単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(4)(g)による。 (3) 単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。 1) 測定した単位水量が、計画調査書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m<sup>3</sup>の範囲にある場合はそのまま施工する。 2) 測定した単位水量が、設計値±15を超え±20kg/m<sup>3</sup>の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打設する。その後、設計値±15kg/m<sup>3</sup>以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 3) 設計値±20kg/m<sup>3</sup>を超える場合は、生コンを打込まずに持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m<sup>3</sup>以内であることを確認する。更に、設計値±15kg以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 (4) 3)の不適合生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。 (5) 単位水量管理についての記録を計画調査書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等)と写真により提出する。 (6) 単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、17メータ又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。</p>	<p>地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 本 部</p> <p>本部長 管理幹 主幹 主査 担当 縮尺</p> <p>日付 2023.09.19</p> <p>訂正 R5.4(Ver.R5-1)</p> <p>工事名 23循環器・呼吸器病センター本館棟 二酸化炭素消火設備ほか改修工事</p> <p>特記仕様書(改修その4)</p> <p>図面No. A-04</p>
種別	材料	厚さ(mm)														
・盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 [G] ・再生クラッシュラン [G] ・クラッシュラン	・図示														
・凍上抑制層	・切込み砂利 ・砂 (改修標準仕様書表9.5.1による)	・図示														
・フィルター層	・改修標準仕様書9.5.3(2)(ウ)による	・図示														



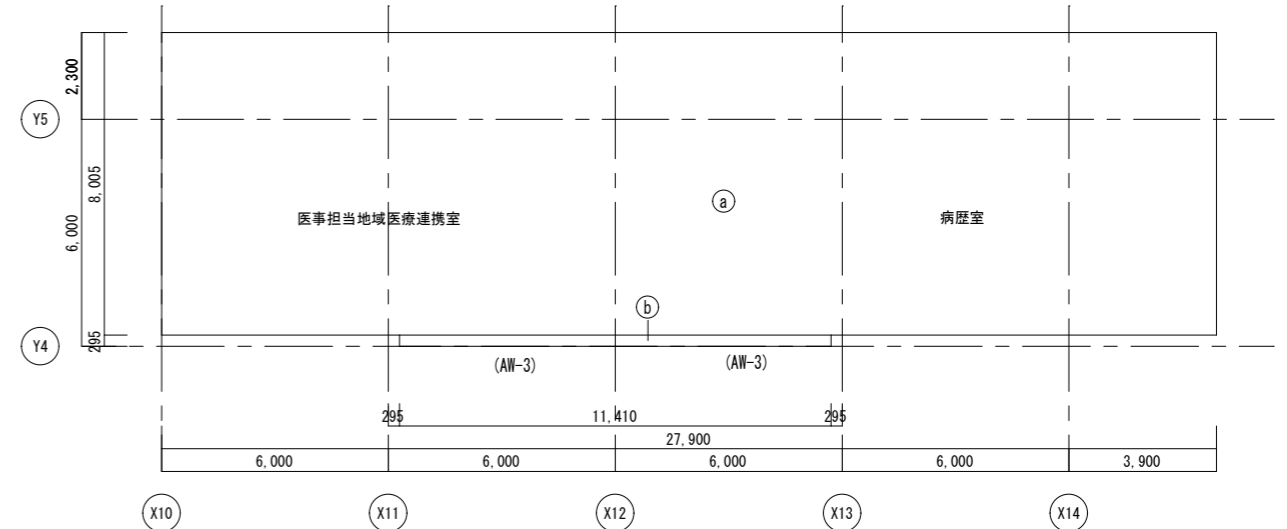
案内図

配置図

摘要	設計年月日	変更年月日	照査	設計	製図	<b>有限会社 クラフト設備設計</b> 建築設備士 第61C1-2681M 号一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称 23循環器・呼吸器病センター本館棟 二酸化炭素消火設備ほか改修工事 図面名 案内・配置図	設計図 縮尺A 1 : 600 A3 1 : 1200	図面番号 A - 05
	R05年09月19日		栗木	栗木	佐藤				

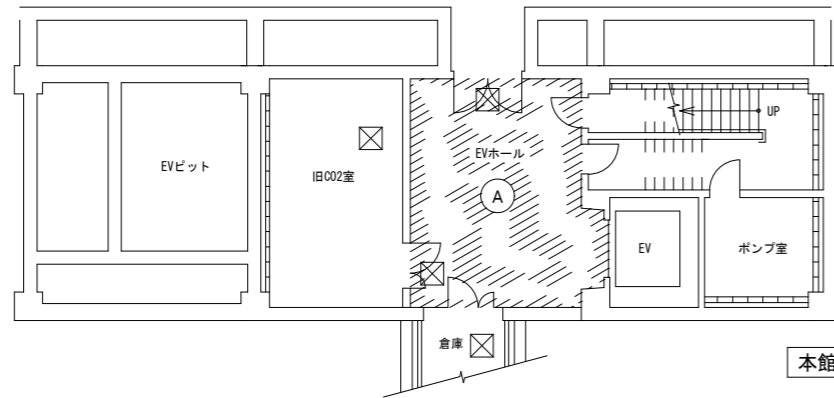
内部仕上表 (改修部分)

階	室名	改修前・後	床	幅木	壁	天井	廻り縁	備考
1	病歴室	改修前	コンクリート金ゴテの上 タイルカーペット (一部ビニール床シート厚2)  一部床スラブなし	ソフト幅木 H75  一部幅木なし	石膏ボード厚12+12下地AEP (一部石膏ボード厚12GL下地AEP)	天井仕上区分図参照	塩ビ廻り縁	床下点検口600角 天井点検口450角 配線ビッド W300 D300
		改修後	コンクリート金ゴテの上 タイルカーペット (一部ビニール床シート厚2) 既存のまま  一部鋼製床下地H1,600下地 ビニール床シート厚2 新設	ソフト幅木 H75 既存のまま  一部ソフト幅木 H75 新設	石膏ボード厚12+12下地AEP (一部石膏ボード厚12GL下地AEP)  一部下地調整後EP	天井仕上区分図参照	塩ビ廻り縁 既存のまま	床下点検口600角 天井点検口450角 配線ビッド W300 D300 既存のまま  床下点検口600角2か所 増設 床換気口200×500 6か所 新設
	医事担当地域 医療連携室	改修前	コンクリート金ゴテの上 タイルカーペット (一部OAフロアの上 タイルカーペット)	ソフト幅木 H75	石膏ボード厚12+12下地AEP (一部石膏ボード厚12GL下地AEP)	天井仕上区分図参照	塩ビ廻り縁	天井点検口450角 配線ビッド W300 D300
		改修後	コンクリート金ゴテの上 タイルカーペット 既存のまま (一部OAフロアの上 タイルカーペット) 既存のまま	ソフト幅木 H75 既存のまま	石膏ボード厚12+12下地AEP (一部石膏ボード厚12GL下地AEP) 既存のまま	天井仕上区分図参照	塩ビ廻り縁 既存のまま	天井点検口450角 配線ビッド W300 D300 既存のまま

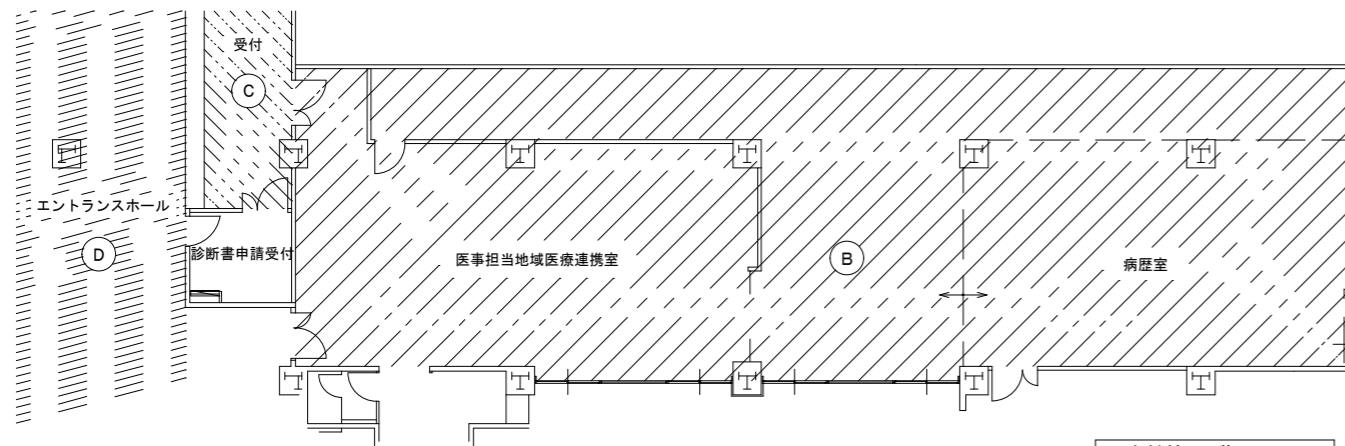


病歴室等床面積積算図

天井仕上区分図



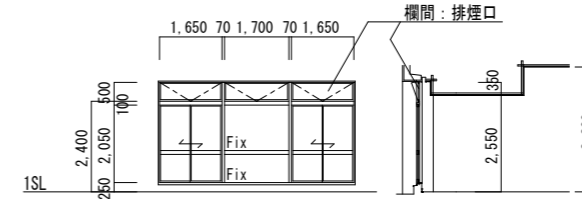
本館棟 地下1階 平面図



本館棟 1階 平面図

記号	改修前 天井仕上	改修後 天井仕上
Ⓐ	LGS下地 ケイカル板t-6.0目透し張 EP塗 (ケイカル板アスベスト含有(レベル3))	既存仕上材撤去 無石棉ケイカル板t-6.0目透し張 EP塗 新設
Ⓑ	LGS下地 化粧石こうボードt-9.5突付け張	既存仕上材 撤去、新設
Ⓒ	LGS下地 岩綿吸音板(フラット)t-9.0張 捨張り石こうボードt-9.5	既存仕上材 捨張りとも撤去、新設
Ⓓ	LGS下地 岩綿吸音板(凹凸タイプ)t-12.0張 捨張り石こうボードt-9.5	既存仕上材 捨張りとも撤去、新設

※改修範囲については、A-13図及びA-14図を参照

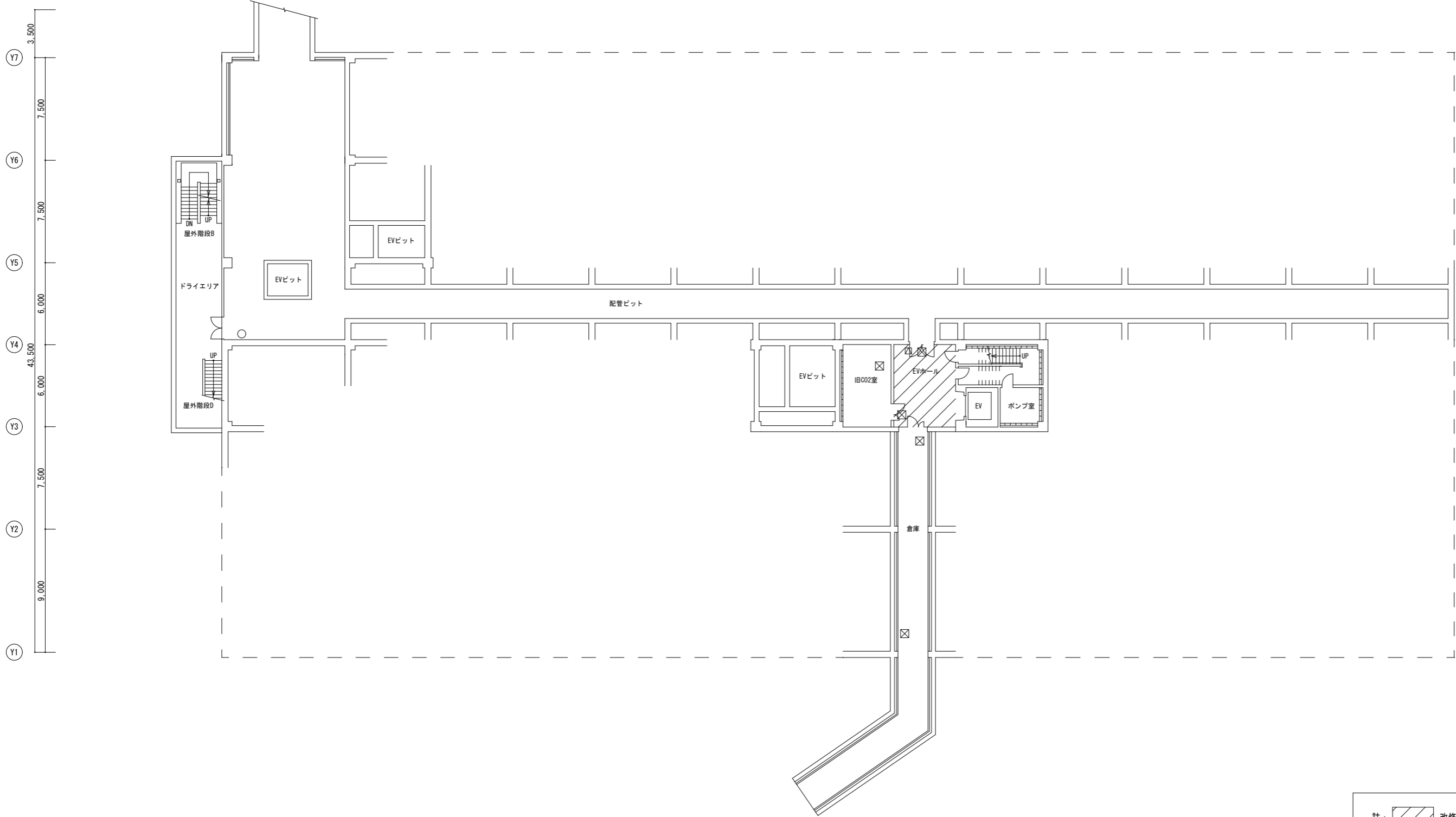
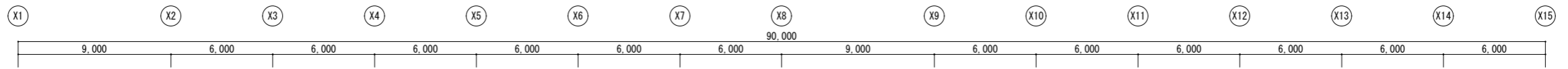


建具姿図 (AW-3×2か所、既存)

病歴室等床面積表	面積計算 (㎡)	必要排煙口計算 (㎡)	排煙口計算 (㎡)	判定
Ⓐ	27.90 × 8.005 = 223.3395	x 1/50 = 4.54	( 1.65 × 0.50 × 2 + 1.70 × 0.50 ) × 2 = 5.00	可
Ⓑ	11.41 × 0.295 = 3.3659			
計	226.7054			

病歴室等排煙計算

病歴室は、CH3,000以上につき  
告示1463号の三にて  
排煙口の高さ2,100以上<2,400かつ  
天井高さの1/2以上 1,650<2,400 ∴OK



本館棟 地下1階 平面図

註:  改修範囲をあらわす。

摘要	設計年月日	変更年月日	照査	設計	製図	<b>有限会社 クラフト設備設計</b> 建築設備士 第61C1-2681M 号一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称	23循環器・呼吸器病センター本館棟 二酸化炭素消火設備ほか改修工事	設計図	図面番号
	R05年09月19日		栗木	栗木	佐大		図面名	地下1階平面図	縮尺A 1:150 A3 1:300	A - 07

X1 X2 X3 X4 X5 X6 X7 X8 X9 X10 X11 X12 X13 X14 X15  
 9,000 6,000 6,000 6,000 6,000 6,000 6,000 6,000 9,000 6,000 6,000 6,000 6,000 6,000 6,000

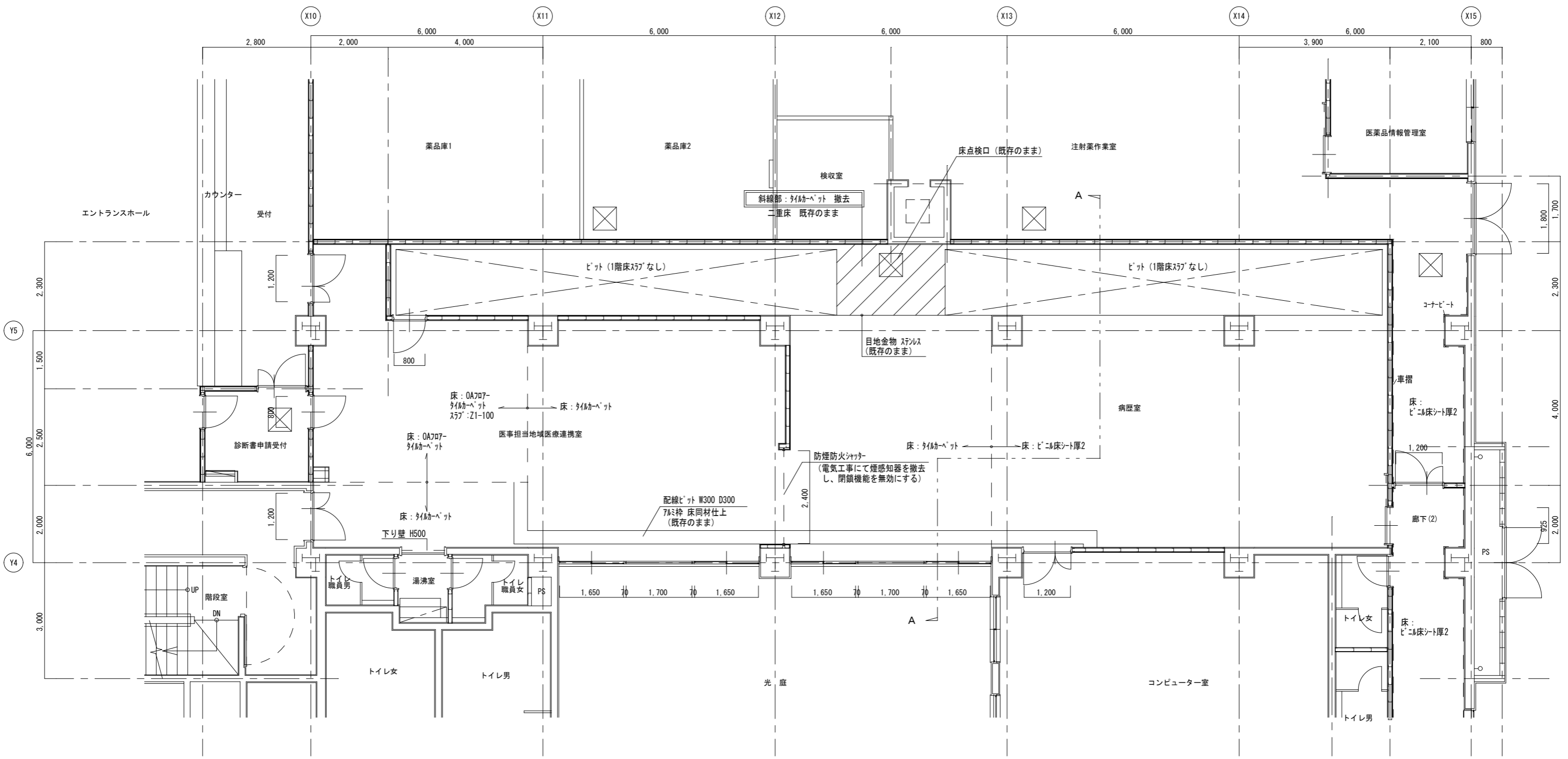


本館棟 1階 平面図

註: 改修範囲をあらわす。

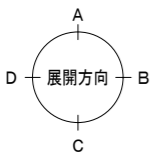
摘要	設計年月日	変更年月日	照査	設計	製図	<b>有限会社 クラフト設備設計</b> 建築設備士 第61C1-2681M 号一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称	23循環器・呼吸器病センター本館棟 二酸化炭素消火設備ほか改修工事	設計図	図面番号
	R05年09月19日		栗木	栗木	佐藤 大谷		図面名	1階平面図	縮尺	A 1 : 150 A3 1 : 300



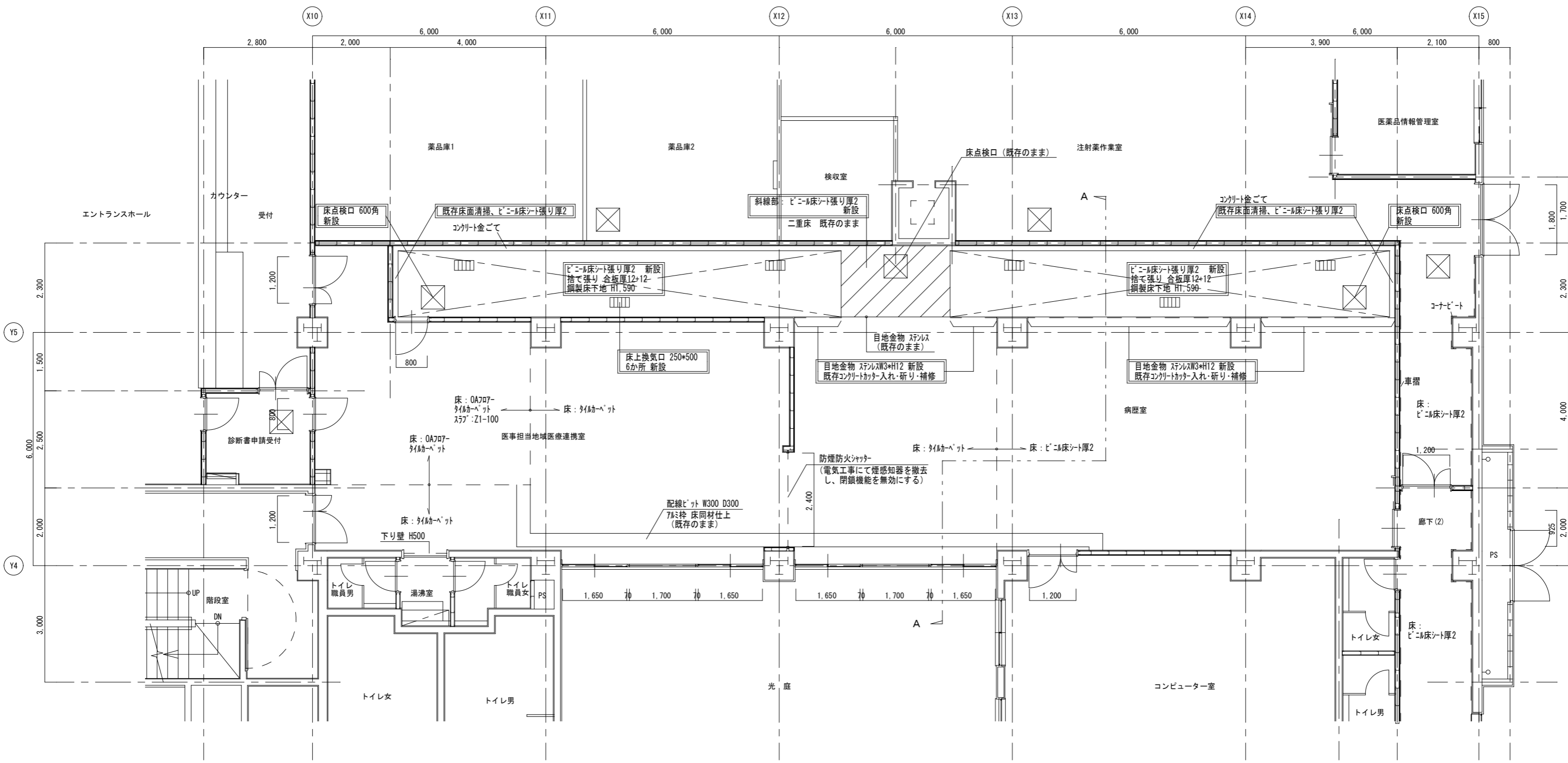


1階 病歴室 平面詳細図 (改修前)

註    改修対象を示す

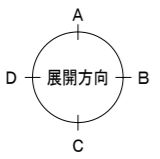


摘要	設計年月日	変更年月日	照査	設計	製図	有限会社 クラフト設備設計 建設設備士 第61C1-2681M 号一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称 23循環器・呼吸器病センター本館棟 二酸化炭素消火設備ほか改修工事	設計図	図面番号 A - 09
	R05年09月19日								

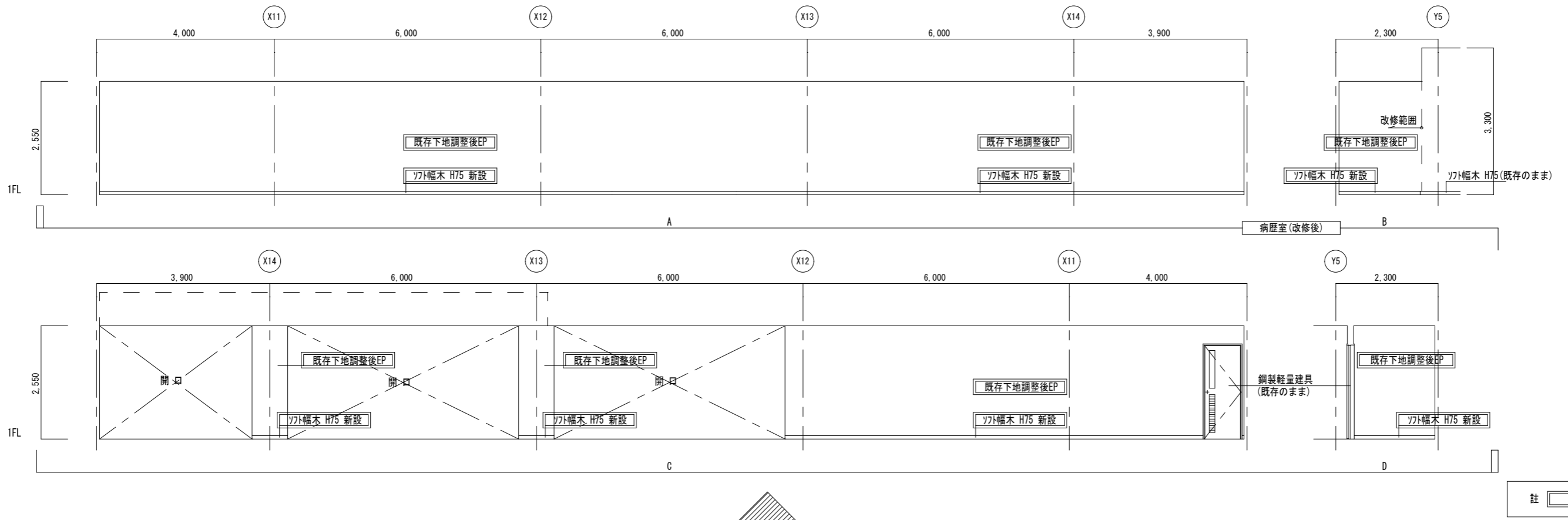


1階 病歴室 平面詳細図 (改修後)

註   改修対象を示す

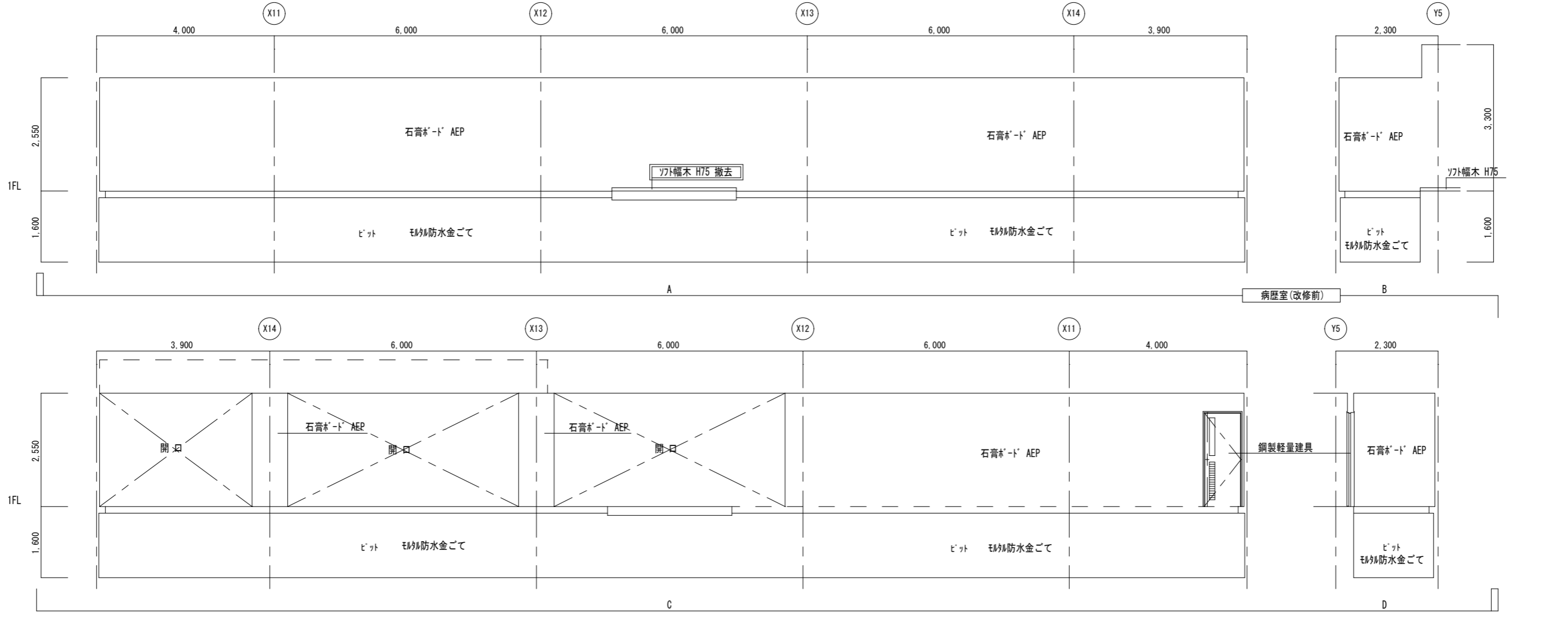
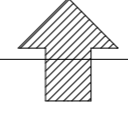


摘要	設計年月日	変更年月日	照査	設計	製図	<b>有限会社 クラフト設備設計</b> 建築設備士 第61C1-2681M 号一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称 23循環器・呼吸器病センター本館棟 二酸化炭素消火設備ほか改修工事 図面名 1階平面詳細図(改修後)	設計図 縮尺 A 1:50 A3 1:100	図面番号 A - 10
	R05年09月19日								



改修後

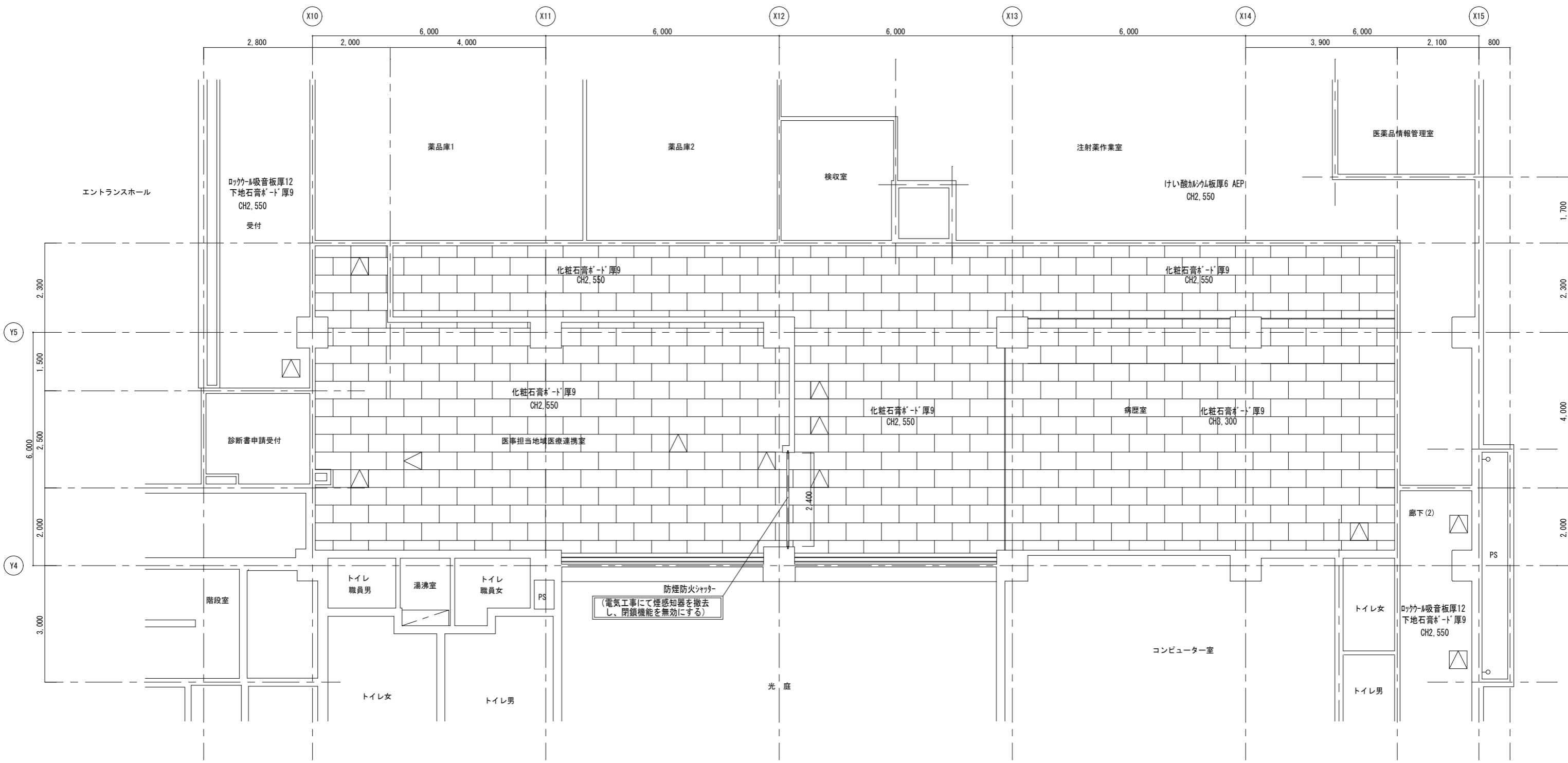
註 [ ] 改修対象を示す



改修前

註 [ ] 改修対象を示す

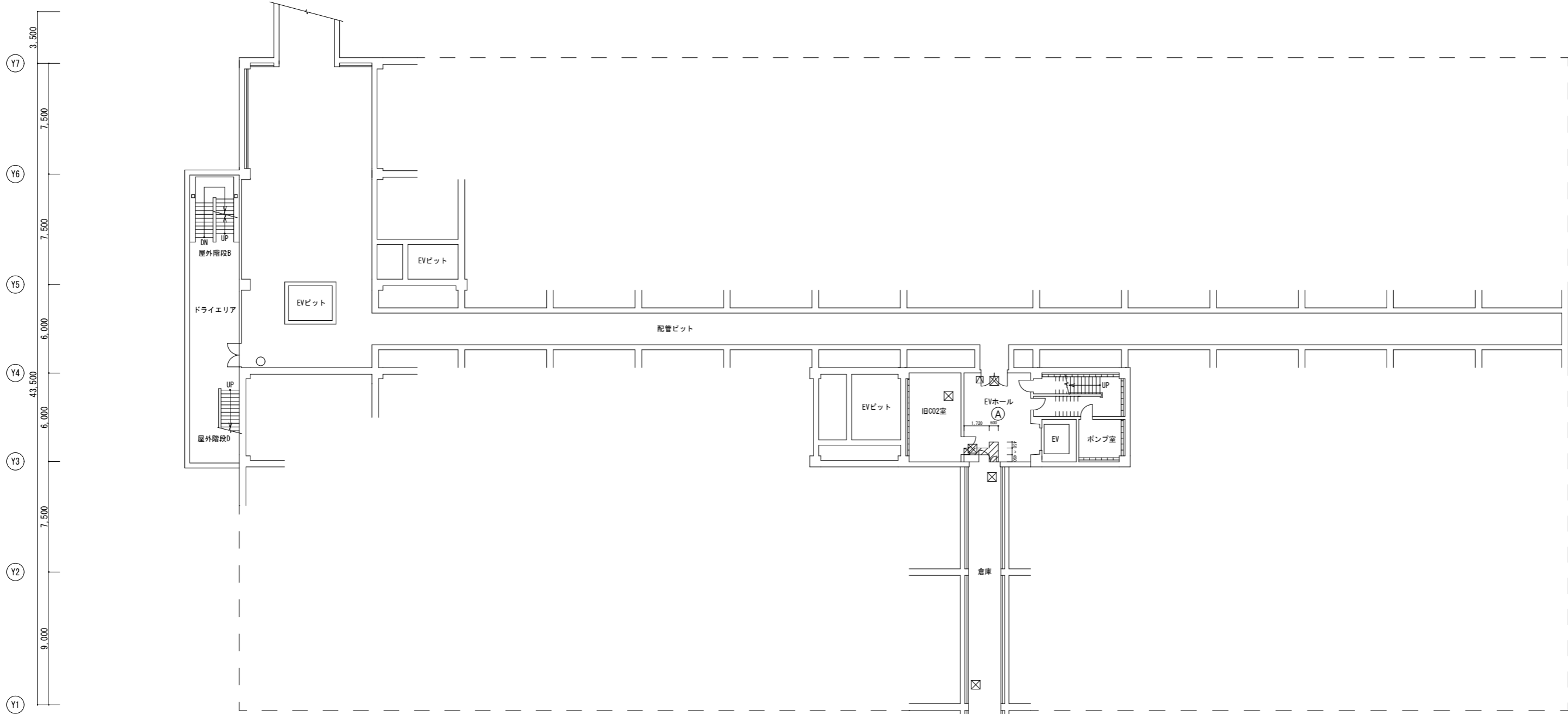
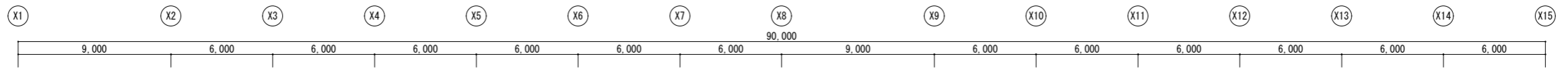
摘要	設計年月日	変更年月日	照査	設計	製図	<b>有限会社 クラフト設備設計</b> 建築設備士 第61C1-2681M 号一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称 23循環器・呼吸器病センター本館棟 二酸化炭素消火設備ほか改修工事 図面名 1階展開図(改修前・後)	設計図	図面番号
	R05年09月19日		栗木	栗木	佐藤			大谷	縮尺 A 1:50 A3 1:100



1階 病歴室 天井伏図

註  改修対象を示す  
 天井改修範囲はA-13図及びA-14図を参照

摘要	設計年月日	変更年月日	照査	設計	製図	<b>有限会社 クラフト設備設計</b> <small>建築設備士 第61C1-2681M 号一級建築士 第337527号 栗木 薫          本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300          高崎 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032</small>	工事名称	23循環器・呼吸器病センター本館棟 二酸化炭素消火設備ほか改修工事	設計図	図面番号
	R05年09月19日		栗木	栗木	佐大谷		図面名	1階天井伏図(既存)	縮尺A 1:50 A3 1:100	A - 12



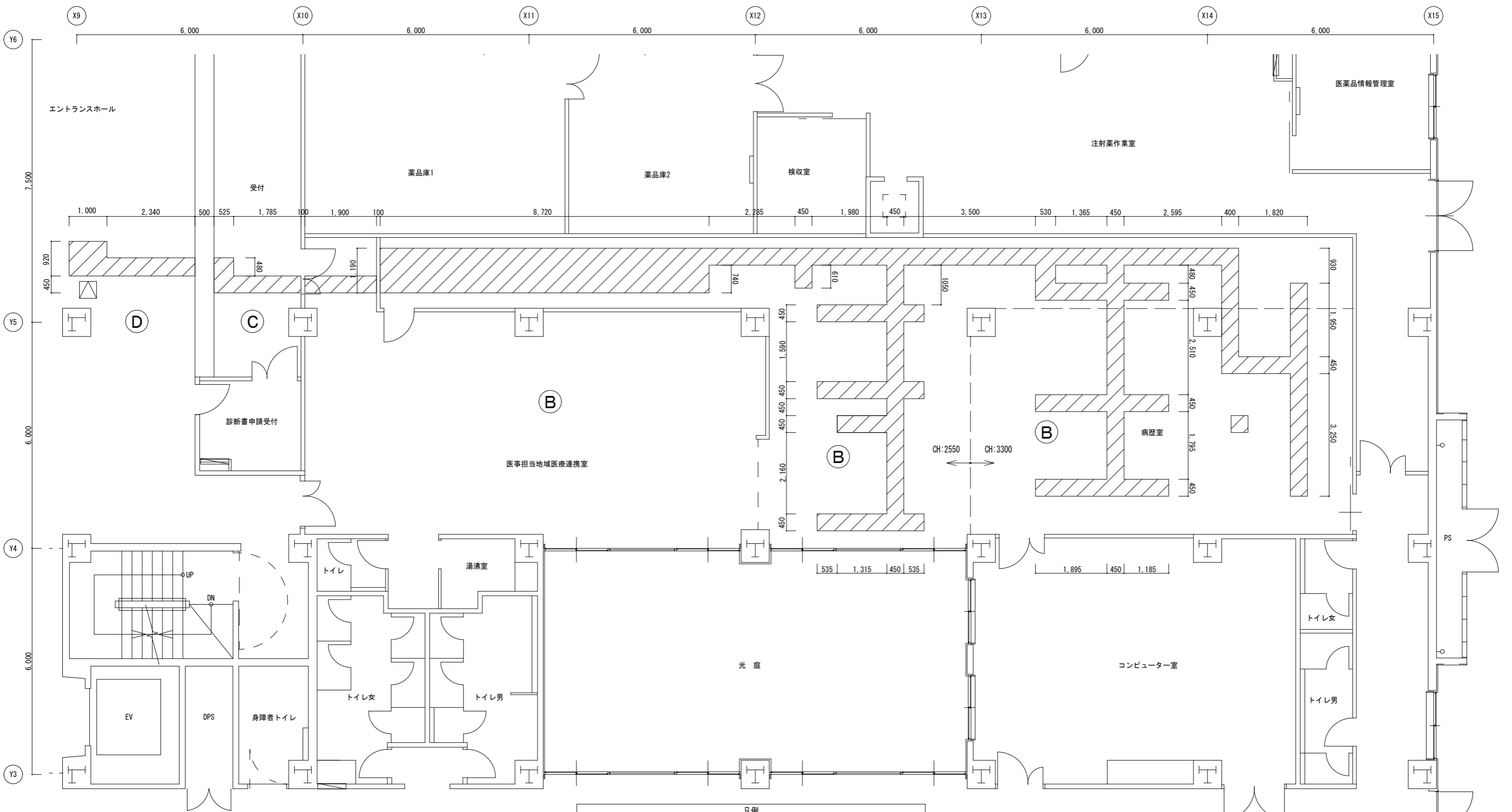
本館棟 地下1階 平面図

凡例		
記号	改修前 天井仕上	改修後 天井仕上
Ⓐ	LGS下地 ケイカル板t-6.0目透し張 EP塗	既存仕上材撤去 無石棉ケイカル板t-6.0目透し張 EP塗 新設
Ⓑ	LGS下地 化粧石膏ボードt-9.5突付け張	既存仕上材 撤去、新設
Ⓒ	LGS下地 岩綿吸音板(フラット)t-9.0張 捨張り石膏ボードt-9.5	既存仕上材 捨張りとも撤去、新設
Ⓓ	LGS下地 岩綿吸音板(凹凸タイプ)t-12.0張 捨張り石膏ボードt-9.5	既存仕上材 捨張りとも撤去、新設
※ 記号無き室は既設のままとする。 ※ 天井点検口等が当たる場合は、取外し再取付とする。 ※ いずれもLGS下地は、再利用とする。		

(アスベスト含有、レベル3にて除去)

天井改修範囲を示す

摘要 設計年月日 R05年09月19日	変更年月日	照査 栗木	設計 栗木	製図 佐藤 大谷	<b>有限会社 クラフト設備設計</b> 建築設備士 第61C1-2681M 号一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称 23循環器・呼吸器病センター本館棟 二酸化炭素消火設備ほか改修工事	設計図 図面番号 A - 13
						図面名 地下1階天井改修範囲図	縮尺 A 1 : 150 A 3 : 300

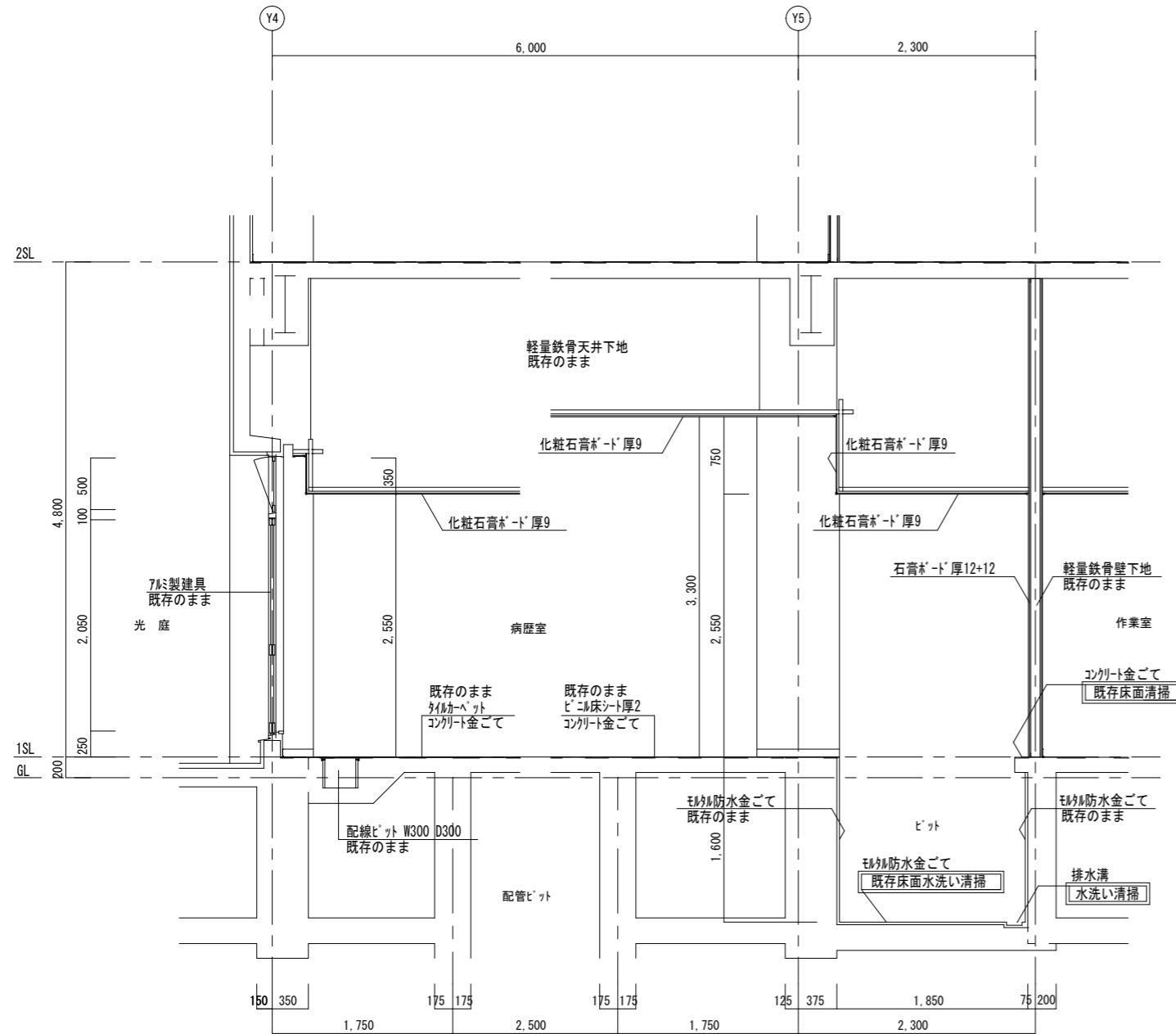


凡例		
記号	改修前 天井仕上	改修後 天井仕上
(A)	LGS下地 ケイカル板t-6.0目透し張 EP塗	既存仕上材撤去 無石棉ケイカル板t-6.0目透し張 EP塗 新設
(B)	LGS下地 化粧石こうボードt-9.5突付け張	既存仕上材 撤去、新設
(C)	LGS下地 岩綿吸音板(フラット)t-9.0張 捨張り石こうボードt-9.5	既存仕上材 捨張りとも撤去、新設
(D)	LGS下地 岩綿吸音板(凹凸タイプ)t-12.0張 捨張り石こうボードt-9.5	既存仕上材 捨張りとも撤去、新設

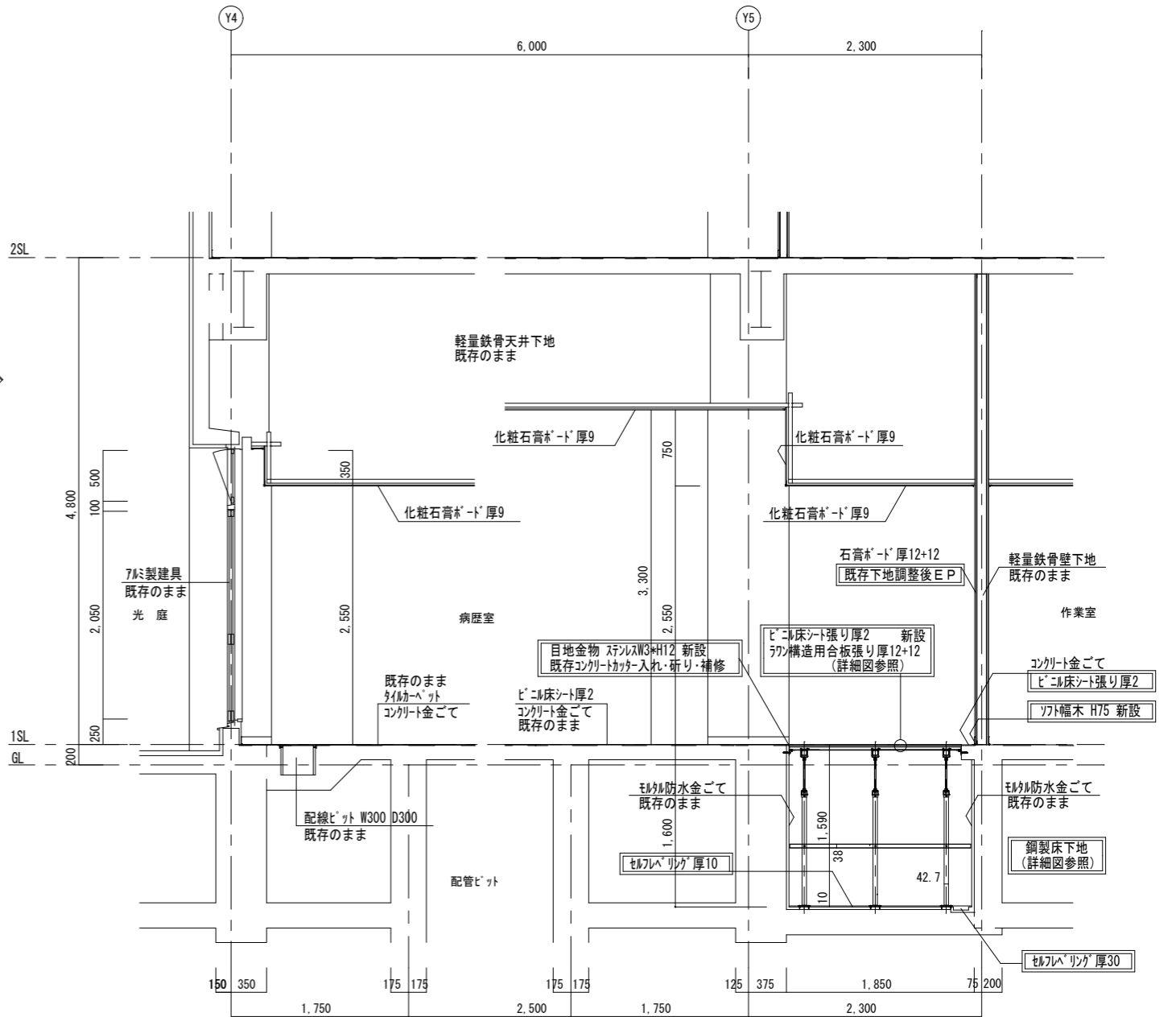
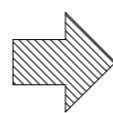
※ 記号無き室は既設のままとする。  
 ※ 天井点検口等が当たる場合は、取外し再取付とする。  
 ※ いずれもLGS下地は、再利用とする。

天井改修範囲を示す
 
 天井点検口新設(450×450)

概要 1階天井改修範囲図	設計年月日	変更年月日	照査	設計	製図	<b>有限会社 クラフト設備設計</b> 建築設備士 第61C1-2681M 号一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称 23循環器・呼吸器病センター本館棟 二酸化炭素消火設備ほか改修工事	図面名 1階天井改修範囲図	縮尺 A 1 : 50 A3 1 : 100	設計図 図面番号 A - 14
	R05年09月19日		栗木	栗木	佐藤 大谷					



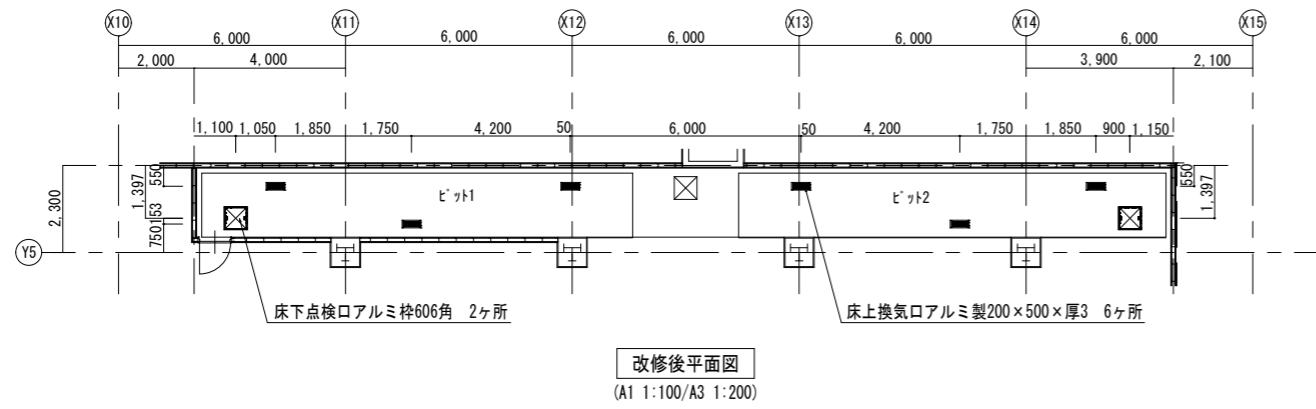
A 矩計図 (改修前)



A 矩計図 (改修後)

註      改修対象を示す

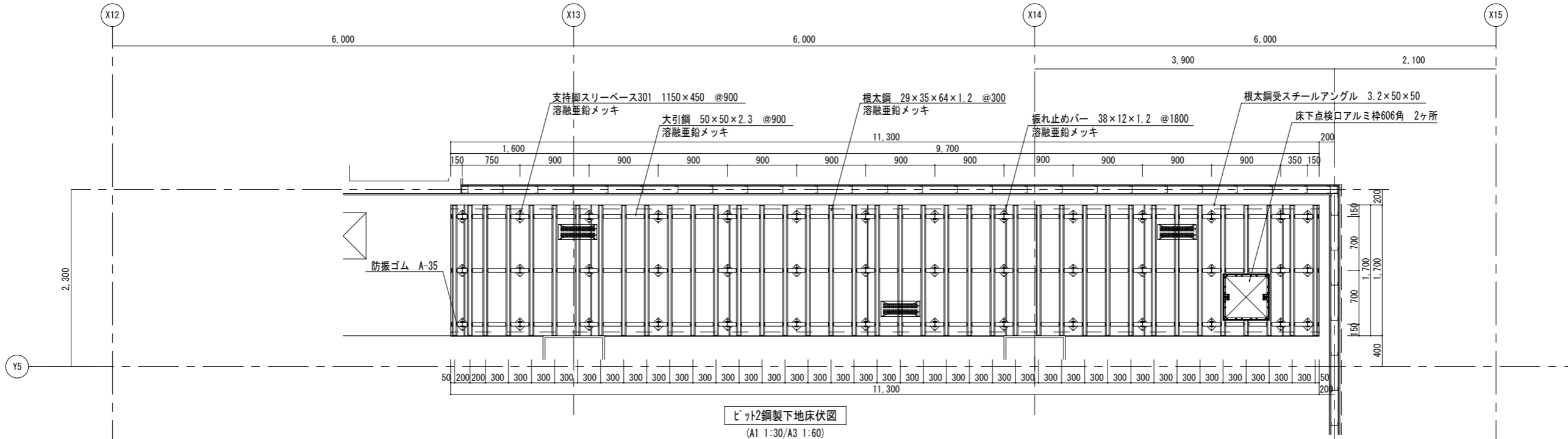
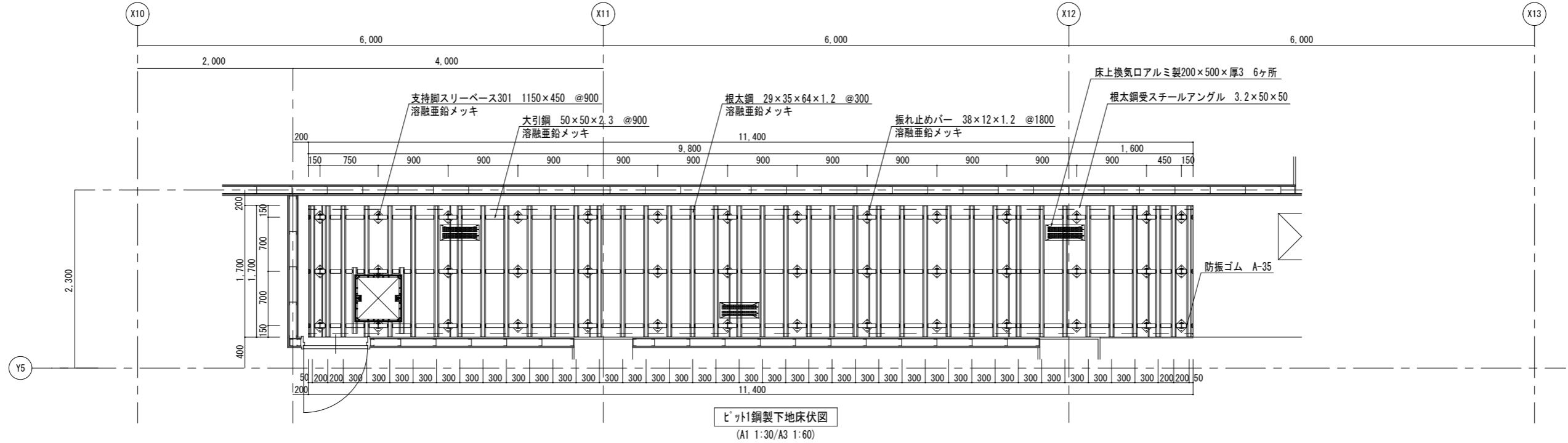
摘要	設計年月日	変更年月日	照査	設計	製図	<b>有限会社 クラフト設備設計</b> 建築設備士 第61C1-2681M 号一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称	23循環器・呼吸器病センター本館棟 二酸化炭素消火設備ほか改修工事	設計図	図面番号
	R05年09月19日		栗木	栗木	佐藤 大谷		図面名	1階矩計図(改修前・後)	縮尺A 1:30 A3 1:60	A - 15



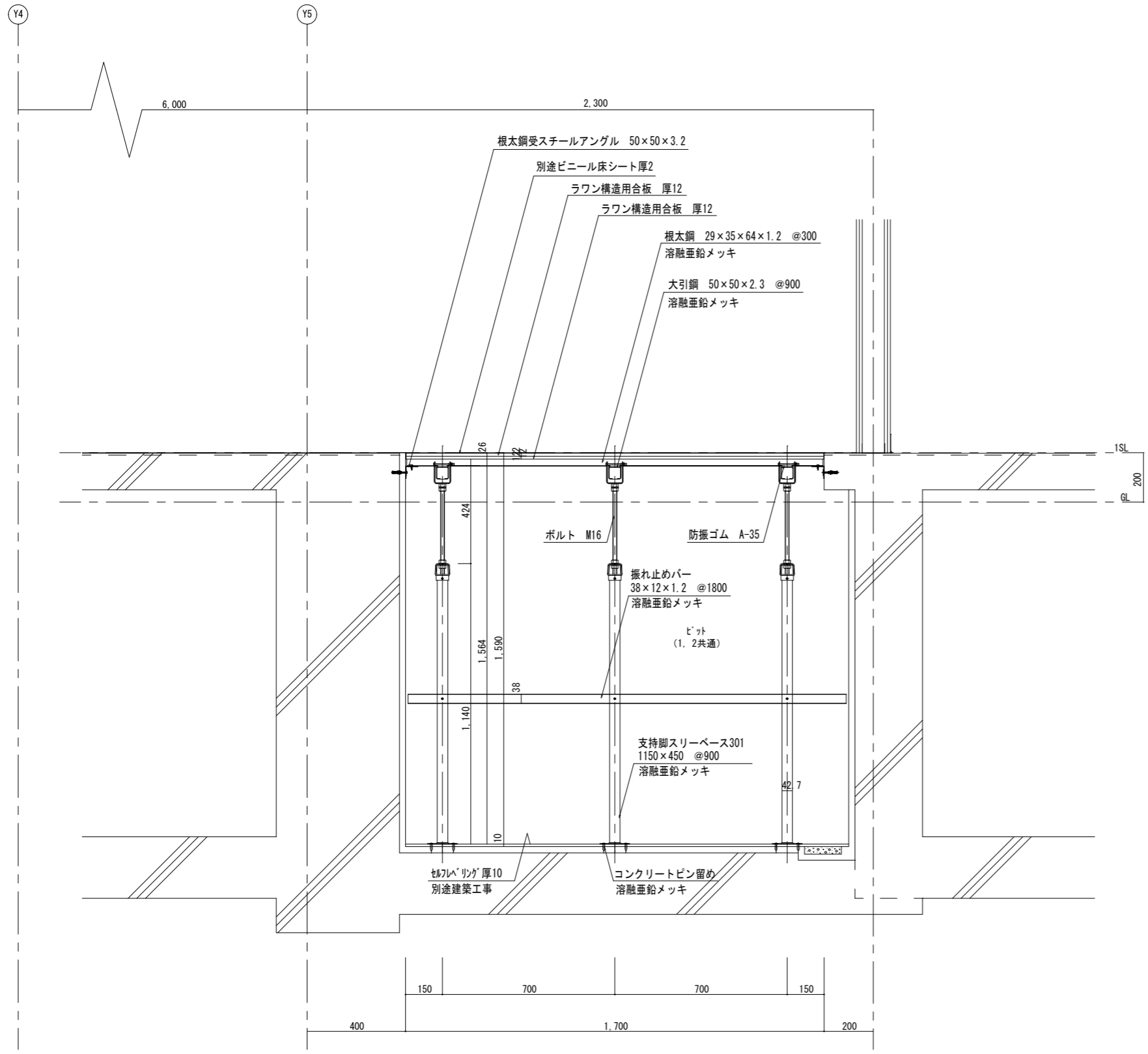
ピット1, 2  
ビニール床シート張り厚2新設  
捨て張り ラワン構造用合板厚12+12  
鋼製床下地 H1,590

鋼製床下地材仕様表 (三洋工業 (株) 参照)

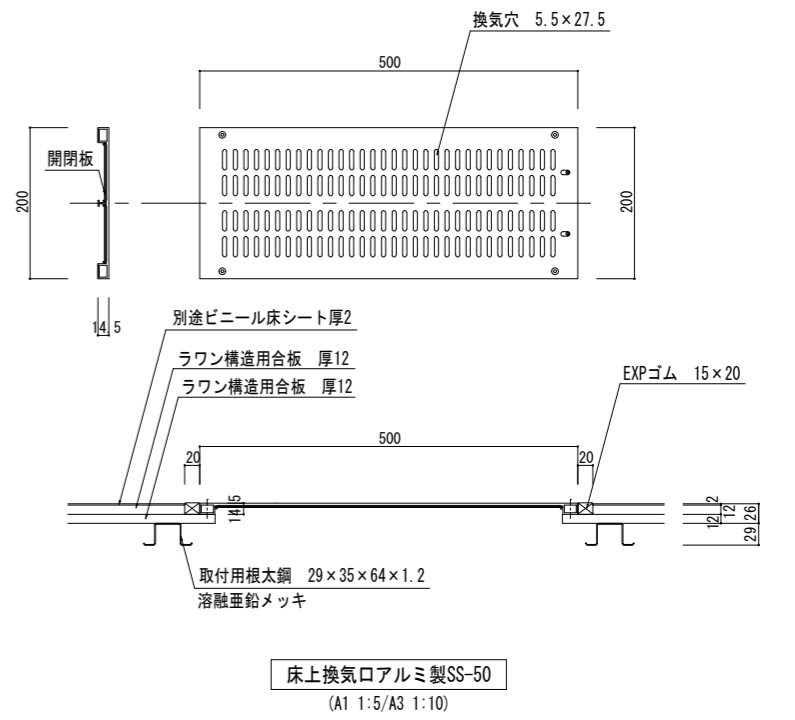
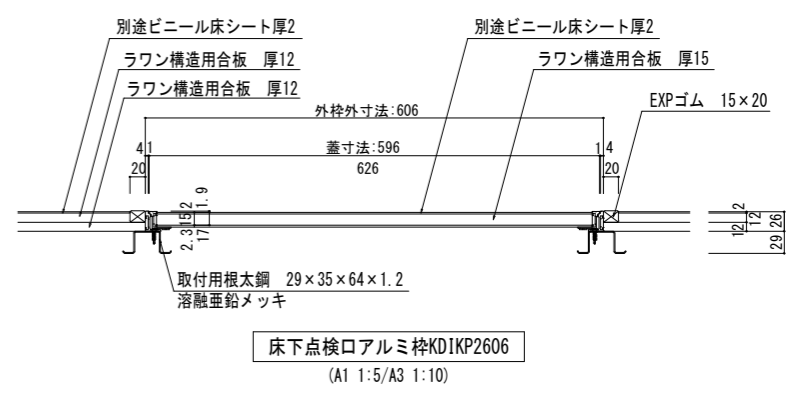
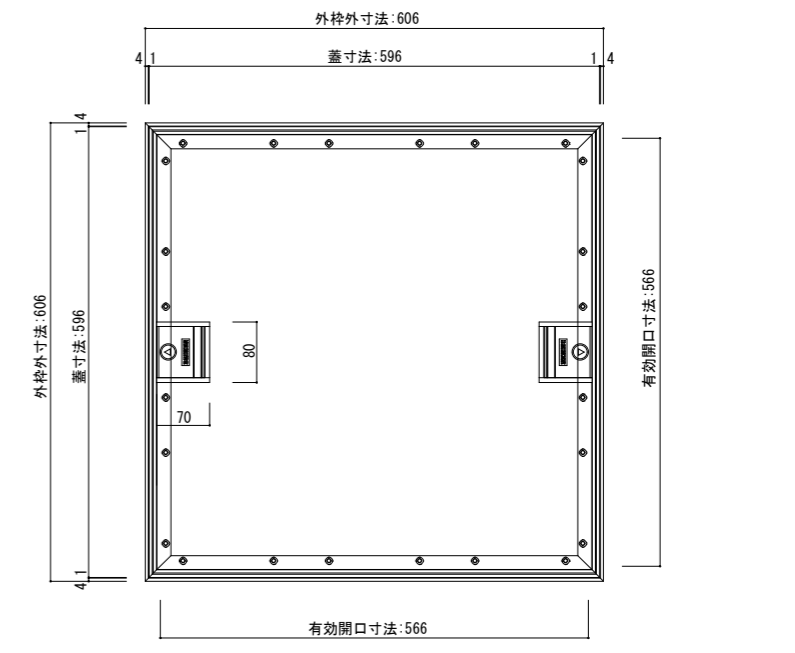
部材名	形格	材質	摘要
大引鋼	50×50×2.3	熔融亜鉛めっき鋼板SGHC又はSGCC	熔融亜鉛めっき 付着量Z12以上
根太鋼	29×35×64×1.2	〃	〃
支持脚301	U字金具	〃	〃
支持台 (鋼管部) (キャップ部) (台座部)	一般構造用炭素鋼鋼管STK29と同等以上	熔融亜鉛めっき 275g/m <sup>2</sup> (両面)以上	
	球状黒鉛鉄品FCD450-10と同等以上	〃	
	熱間圧延鋼板及び鋼帯SPHCと同等以上	〃	
緩衝材	メインクッション101	A種防振ゴム 硬度53°	
調整ボルト		軟鋼線材SWRM8 又は 一般構造用圧延鋼材SS400と同等以上	電気亜鉛めっき Ep-Fe/Zn 5
ナット		冷間圧造用炭素鋼と同等以上	電気亜鉛めっき Ep-Fe/Zn 5
スプリングワッシャー		硬鋼線材SWRH57~77	電気亜鉛めっき Ep-Fe/Zn 5





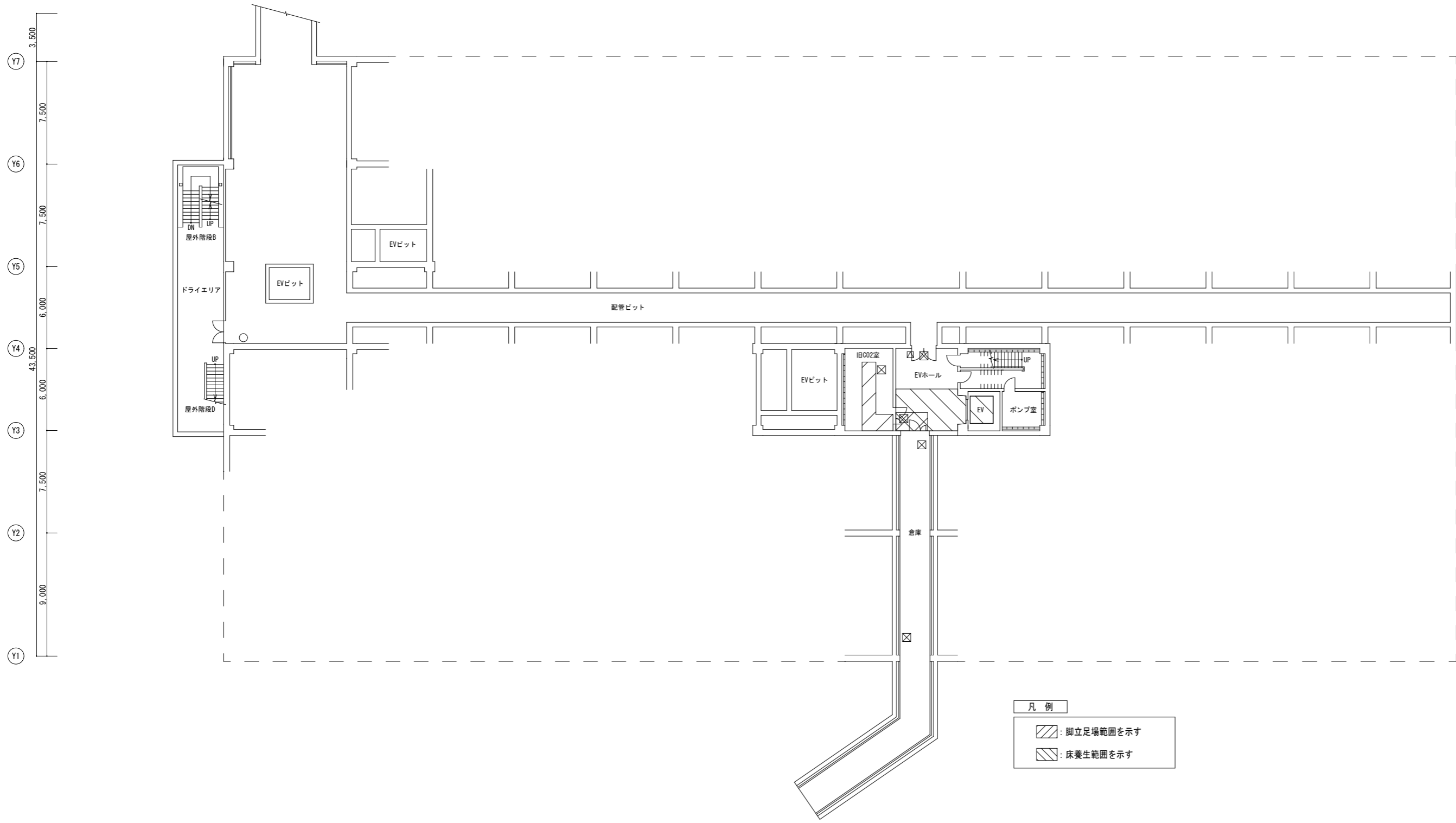


鋼製床下地断面図  
 (A1 1:10/A3 1:20)



摘要	設計年月日	変更年月日	照査	設計	製図	有限会社 クラフト設備設計	工事名称	23循環器・呼吸器病センター本館棟 二酸化炭素消火設備ほか改修工事	設計図	図面番号
	R05年09月19日		栗木	栗木	佐藤 大谷	建築設備士 第61C1-2681M 号一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0862 高崎 市片岡町 3-1-5 TEL 027-324-1032	図面名	【参考図】1階 病歴室 鋼製床組スリベース 断面図・付属品図	縮尺 A 1:10 A3 1:20	A - 17

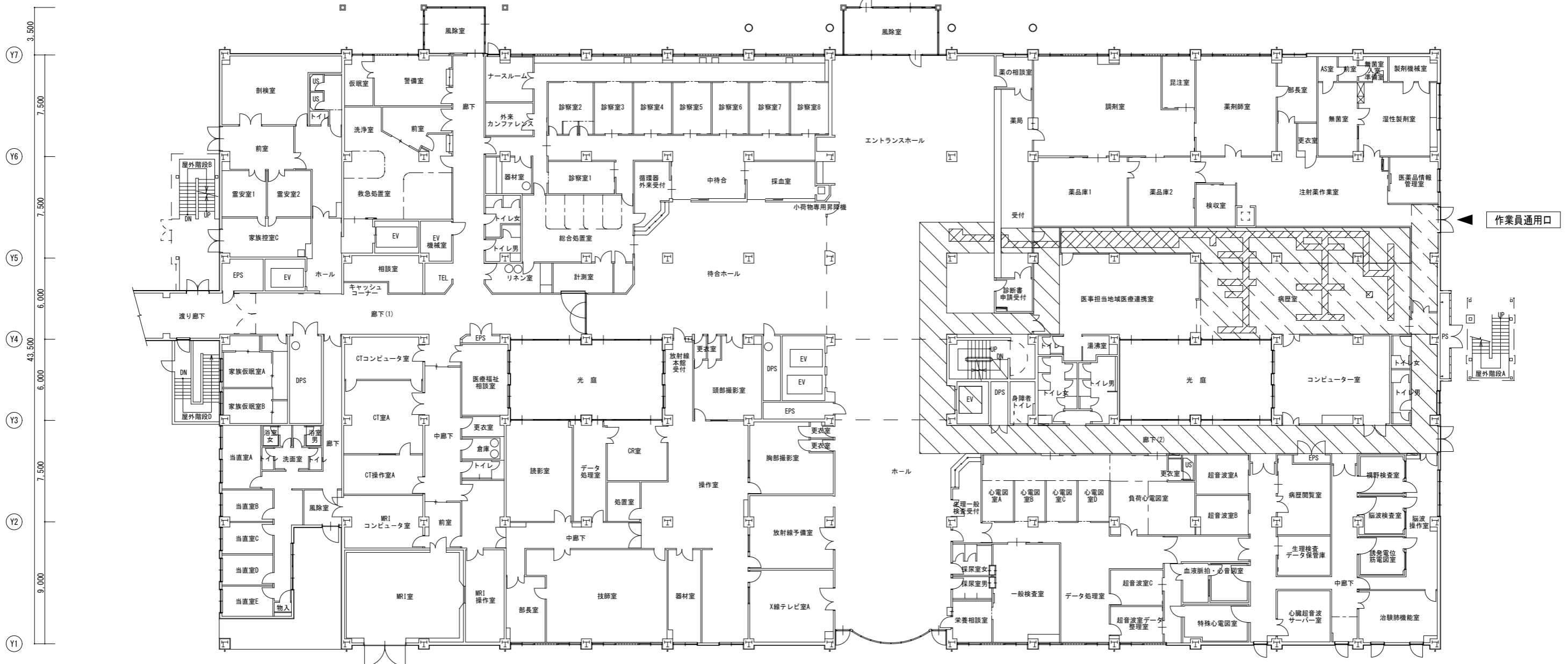
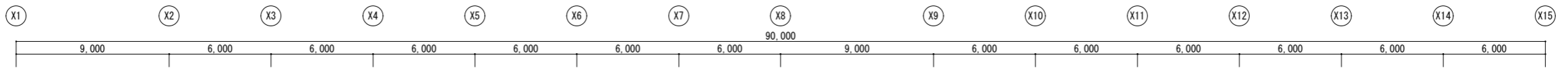
X1 X2 X3 X4 X5 X6 X7 X8 X9 X10 X11 X12 X13 X14 X15  
 9,000 6,000 6,000 6,000 6,000 6,000 6,000 90,000 9,000 6,000 6,000 6,000 6,000 6,000 6,000



凡例  
 [斜線]: 脚立足場範囲を示す  
 [点線]: 床養生範囲を示す

本館棟 地下1階 平面図

摘要	設計年月日	変更年月日	照査	設計	製図	<b>有限会社 クラフト設備設計</b> 建築設備士 第61C1-2681M 号一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称	23循環器・呼吸器病センター本館棟 二酸化炭素消火設備ほか改修工事	設計図	図面番号
	R05年09月19日		栗木	栗木	佐大谷		図面名	【参考図】地下1階 脚立足場範囲図・床養生範囲図	縮尺A 1:150 A3 1:300	A - 18



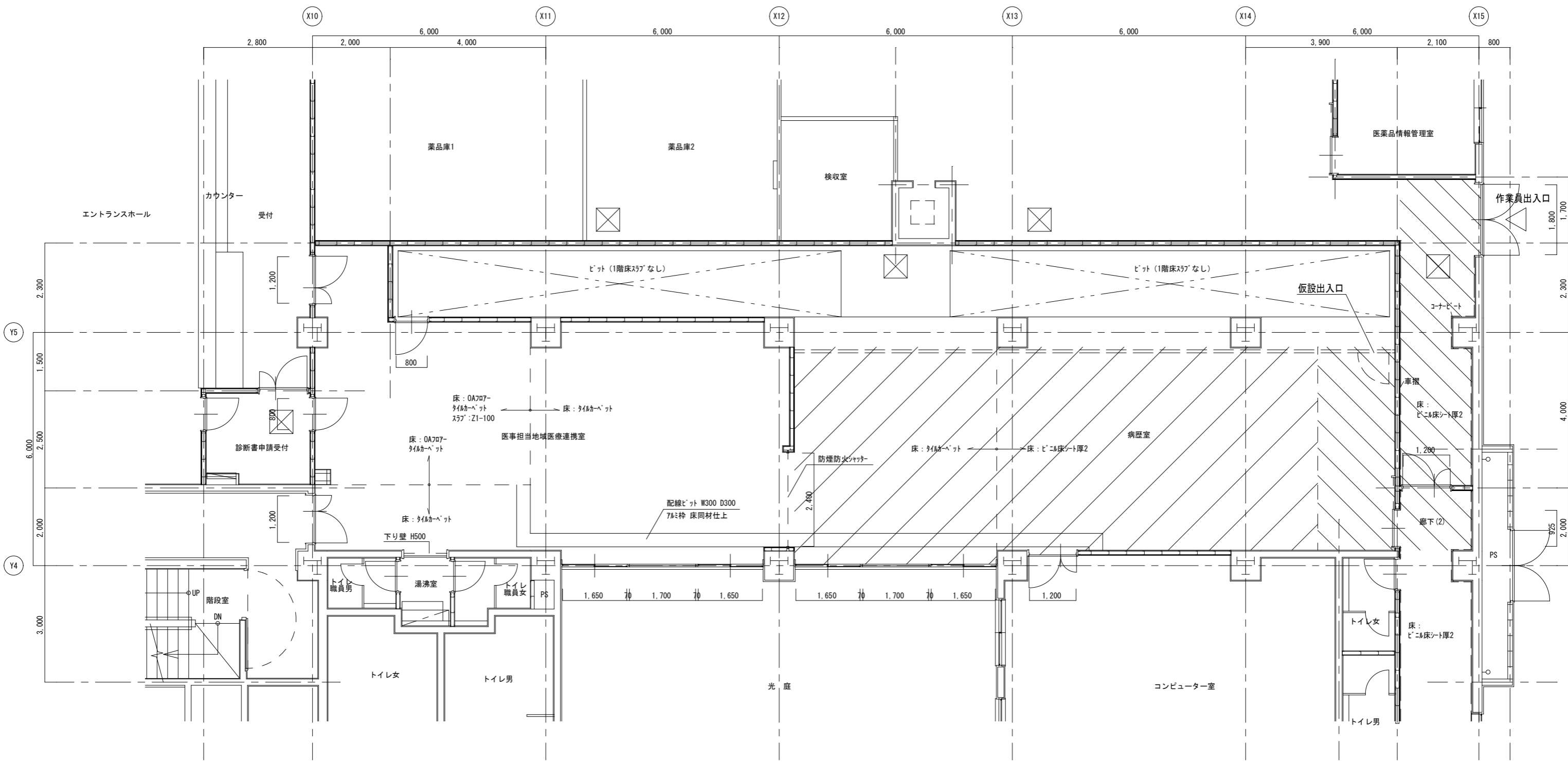
本館棟 1階 平面図

- 凡例
- : 脚立足場範囲を示す
  - : 床養生範囲を示す
  - : 床養生範囲を示す (A-20図参照)


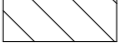
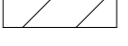
特記事項

各工程 土日作業を想定  
脚立足場・床養生は、その都度、設置・撤去とし、8回程度を想定

摘要	設計年月日	変更年月日	照査	設計	製図	<b>有限会社 クラフト設備設計</b> 建築設備士 第61C1-2681M 号一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称	23循環器・呼吸器病センター本館棟 二酸化炭素消火設備ほか改修工事	設計図	図面番号
	R05年09月19日		栗木	栗木	佐大		図面名	【参考図】1階 脚立足場範囲図・床養生範囲図	縮尺	A 1 : 150 A 3 1 : 300



【参考図】1階 病歴室 仮設計画図

- 註1  仮設間仕切をあらわす。
- 2  床養生 (ビニールシート) をあらわす。
- 3  床養生 (ビニールシート、掛け払い8回) をあらわす。

摘要	設計年月日	変更年月日	照査	設計	製図	<b>有限会社 クラフト設備設計</b> 建築設備士 第61C1-2681M 号一級建築士 第337527号 栗木 薫 本社 〒360-0824 熊谷市見晴町3番地 TEL 048-521-6300 高崎 〒370-0862 高崎市片岡町3-1-5 TEL 027-324-1032	工事名称	23循環器・呼吸器病センター本館棟 二酸化炭素消火設備ほか改修工事	設計図	図面番号
	R05年09月19日		栗木	栗木	佐藤 大谷		【参考図】1階仮設計画図	縮尺A 1:50 A3 1:100	A - 20	